

近畿厚生局長 殿

大阪大学医学部附属病院  
病院長 吉川 秀樹

印

大阪大学医学部附属病院病院長の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成23年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	72人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	456人	518人	754.8人	看護補助者	54人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	1人	22人	9.2人	理学療法士	10人	臨床検査技師	78人
薬剤師	57人	11人	65.3人	作業療法士	4人	衛生検査技師	2人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	14人	その他	0人
助産師	35人	0人	35.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧	0人
看護師	860人	19人	874.4人	臨床工学技士	20人	医療社会事業従事者	8人
准看護師	2人	0人	2.0人	栄養士	0人	その他の技術員	8人
歯科衛生士	0人	2人	1.5人	歯科技工士	0人	事務職員	222人
管理栄養士	7人	0人	7.0人	診療放射線技師	57人	その他の職員	48人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	891.8人	0.0人	891.8人
1日当たり平均外来患者数	2,504.0人	11.1人	2,515.1人
1日当たり平均調剤数			1,305.40剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	102人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	4人
腹腔鏡補助下腓体尾部切除又は核出術	8人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	0人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	0人
前眼部三次元画像解析	0人
自家嗅粘膜移植による脊髄再生治療	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

医療技術名	特になし	取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	170人	・膿疱性乾癬	12人
・多発性硬化症	71人	・広範脊柱管狭窄症	7人
・重症筋無力症	194人	・原発性胆汁性肝硬変	61人
・全身性エリテマトーデス	436人	・重症急性膵炎	3人
・スモン	8人	・特発性大腿骨頭壊死症	65人
・再生不良性貧血	80人	・混合性結合組織病	85人
・サルコイドーシス	85人	・原発性免疫不全症候群	16人
・筋萎縮性側索硬化症	35人	・特発性間質性肺炎	21人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	289人	・網膜色素変性症	81人
・特発性血小板減少性紫斑病	126人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	36人	・肺動脈性肺高血圧症	35人
・潰瘍性大腸炎	111人	・神経線維腫症	48人
・大動脈炎症候群	80人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ピュルガー病	36人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2人
・天疱瘡	47人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	9人
・脊髄小脳変性症	58人	・ライソゾーム病	47人
・クローン病	119人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	10人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	2人
・悪性関節リウマチ	15人	・脊髄性筋委縮症	3人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	146人	・球脊髄性筋委縮症	7人
・アミロイドーシス	7人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	6人
・後縦靭帯骨化症	74人	・肥大型心筋症	20人
・ハンチントン病		・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	31人	・ミトコンドリア病	7人
・ウェゲナー肉芽腫症	10人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	23人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	177人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	24人	・黄色靭帯骨化症	4人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	35人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	164人

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1	早期・探索的臨床研究拠点整備事業補助金	小室 一成	循環器内科	510,000,000	補 文部科学省
2	臓器特性を利用した心血管疾患治療標的の探索と臨床応用	高島 成二	循環器内科	44,778,500	補 文部科学省
3	免疫関連治療のための次世代型抗体医薬開発	武田 吉人	呼吸器内科	29,545,752	補 文部科学省
4	セマフォリンによる細胞移動及び小胞輸送ナビゲーション機構の解明	熊ノ郷 淳	免疫・アレルギー内科	65,000,000	補 文部科学省
5	iPS細胞を用いた心臓細胞移植の安全性と有効性の検証	澤 芳樹	心臓血管外科	80,000,000	委 文部科学省
6	京都大学iPS細胞研究統合推進拠点	澤 芳樹	心臓血管外科	29,000,000	委 文部科学省
7	「アカデミアのTR拠点が創出する臓器移植確立のための戦略的アプローチ ②新規免疫抑制療法を併用する臨床臓器移植の開発」 (大阪大学における臓器分離および新規免疫抑制療法を用いた臓器移植技術の開発)	伊藤 壽記	消化器外科	1,242,976	補 文部科学省
8	癌細胞が特異的に生成するシエディング産物の網羅的解析による癌の早期診断システムの開発における尿中バイオマーカー(タンパク質断片)の探索及び胃癌試料と臨床情報の収集	土岐 祐一郎	消化器外科	1,000,000	委 文部科学省
9	ゲノム網羅的解析情報を基盤とするオーダーメイドがん医療	森 正樹	消化器外科	5,000,000	委 文部科学省
10	iPS細胞を用いた角膜再生治療法の開発	西田 幸二	眼科	178,000,000	委 文部科学省
11	iPS細胞を用いた自家角膜再生治療法の開発	西田 幸二	眼科	45,280,000	委 文部科学省
12	高解像度人工網膜電極の開発・評価	不二門 尚	眼科	13,900,000	委 文部科学省
13	患者別に機能発現する階層構造インプラント	吉川 秀樹	整形外科	43,350,660	補 文部科学省
14	革新的技術を活用し、加齢による脳機能低下と異常蛋白質蓄積につながる病理過程の上流を追求・解明し、認知症の血液診断マーカーと治療薬を開発する	武田 雅俊	神経科・精神科	72,500,000	委 文部科学省

小計

14

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
15	日本の特長を活かしたBMIの統合的研究開発	吉峰 俊樹	脳神経外科	67,500,000	委 文部科学省
16	粒子線がん治療に係る人材育成プログラム	吉岡 靖生	放射線治療科	5,311,000	委 文部科学省
17	がんエピゲノム異常を標的とした治療・診断法の開発(Srcがん形質におけるmicroRNA異常に基づくがん診断・治療法開発)	池田 純一郎	病理部	1,500,000	委 文部科学省
18	大学病院連携型高度医療人養成推進事業	笠原 彰紀	卒後教育開発センター	38,944,900	補 文部科学省
9	大学病院連携型高度医療人養成推進事業(滋賀医科大学分担金)	笠原 彰紀	卒後教育開発センター	500,000	補 文部科学省
20	大学病院連携型高度医療人養成推進事業(大阪医科大学分担金)	笠原 彰紀	卒後教育開発センター	1,000,000	補 文部科学省
21	TR実践のための戦略的高機能拠点整備	澤 芳樹	未来医療センター	244,304,281	補 文部科学省
22	大学病院業務改善推進事業	永井 義美	事務部長	65,250,000	補 文部科学省
23	国立大学法人設備整備費補助金(患者用ベッドシステム)			76,176,450	補 文部科学省
24	肥満におけるアディポサイトカイン異常と病態発症機構の解析	船橋 徹	内分泌・代謝内科	16,770,000	補 文部科学省
25	セマフォリンをターゲットにした自己免疫疾患治療の試み	熊ノ郷 淳	免疫・アレルギー内科	6,370,000	補 文部科学省
26	骨髄内遊離癌細胞の転移形成能を左右するマイクロRNAの研究	石井 秀始	消化器外科	4,420,000	補 文部科学省
27	ファイバートラクトグラフィによる神経線維描出の統合的検証と臨床応用	橋本 直哉	脳神経外科	3,900,000	補 文部科学省
28	(厚生労働科研(分担))脳/心血管領域におけるアンメットニーズに対応する創薬研究	小室 一成	循環器内科	33,000,000	補 厚生労働省
29	難治性血管炎に関する調査研究	小室 一成	循環器内科	800,000	補 厚生労働省

小計

15

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
30 中性脂肪蓄積心血管症の発見—その疾患概念の確立、診断法、治療法の開発	平野 賢一	循環器内科	13,000,000	厚生労働省
31 原発性中性脂肪蓄積心血管症に対する医師主導型治療へのアプローチ	平野 賢一	循環器内科	13,000,000	厚生労働省
32 肥満関連疾患のアジアと米国における遺伝疫学的検討とその対策に関する研究	山下 静也	循環器内科	700,000	厚生労働省
33 原発性高脂血症に関する調査研究	山下 静也	循環器内科	1,500,000	厚生労働省
34 次世代遺伝子解析による希少難治性循環器疾患の診断治療法の開発と臨床実用化に関する研究	小室 一成	循環器内科	100,000,000	厚生労働省
35 心筋梗塞患者に対するエボエチンペプチド投与による心機能改善効果に関する研究—Ⅱ	小室 一成	循環器内科	26,000,000	厚生労働省
36 特発性心筋症に関する調査研究	小室 一成	循環器内科	1,000,000	厚生労働省
37 難治性大動脈炎症候群に対するInterleukin-6阻害療法の確立に向けた基盤的研究	小室 一成	循環器内科	13,000,000	厚生労働省
38 脳/心血管領域におけるアンメットニーズに対応する創薬研究	小室 一成	循環器内科	195,000,000	厚生労働省
39 臨床心不全エピソード診断における組織可塑性指標となる新規バイオマーカーの開発と治療への応用に関する研究	小室 一成	循環器内科	39,000,000	厚生労働省
40 進行性腎障害に関する調査研究	猪阪 善隆	腎臓内科	3,000,000	厚生労働省
41 中性脂肪蓄積心血管症の発見—その疾患概念の確立、診断法、治療法の開発	長澤 康行	腎臓内科	200,000	厚生労働省
42 C型肝炎における新規治療法に関する研究	考藤 達哉	消化器内科	1,500,000	厚生労働省
43 ウイルス性肝炎からの発がん及び肝がん再発の抑制に関する研究	考藤 達哉	消化器内科	4,000,000	厚生労働省
44 C型肝炎難治症例の病態解明と抗ウイルス治療に関する研究	竹原 徹郎	消化器内科	43,702,000	厚生労働省

小計

15

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
45 ウイルス性肝炎からの発がん及び肝がん再発の抑制に関する研究	竹原 徹郎	消化器内科	8,000,000	厚生労働省 補
46 ウイルス性肝炎における最新の治療法の標準化を目指す研究	竹原 徹郎	消化器内科	2,500,000	厚生労働省 補
47 ウイルス性肝炎に対する分子標的治療創薬に関する研究	竹原 徹郎	消化器内科	2,000,000	厚生労働省 補
48 肝がんの新規治療法に関する研究	竹原 徹郎	消化器内科	2,000,000	厚生労働省 補
49 B型肝炎の核酸アナログ薬治療における治療中止基準の作成と治療中止を目指したインターフェロン治療の有用性に関する研究	平松 直樹	消化器内科	1,500,000	厚生労働省 補
50 C型肝炎難治症例の病態解明と抗ウイルス治療に関する研究	平松 直樹	消化器内科	2,000,000	厚生労働省 補
51 ウイルス性肝炎からの発がん及び肝がん再発の抑制に関する研究	平松 直樹	消化器内科	4,000,000	厚生労働省 補
52 肥満関連疾患のアジアと米国における遺伝疫学的検討とその対策に関する研究	船橋 徹	内分泌・代謝内科	450,000	厚生労働省 補
53 難治性疼痛の実態の解明と対応策の開発に関する研究	安田 哲行	内分泌・代謝内科	500,000	厚生労働省 補
54 ヒト組織長期維持SCIDマウスを用いた医薬品等の有効性、安全性評価システムの構築	立花 功	呼吸器内科	1,000,000	厚生労働省 補
55 アレルギー疾患のダイナミックな変化とその背景因子の機能的解析による医療経済の改善効果に関する調査研究	田中 敏郎	免疫・アレルギー内科	800,000	厚生労働省 補
56 成人型分型不能型免疫不全症の診断基準・診断方法の確立及び治療方法の開発に関する研究	田中 敏郎	免疫・アレルギー内科	500,000	厚生労働省 補
57 がんの医療経済的解析を踏まえた患者負担の在り方に関する研究	金倉 謙	血液・腫瘍内科	1,000,000	厚生労働省 補
58 特発性造血障害に関する調査研究	金倉 謙	血液・腫瘍内科	2,000,000	厚生労働省 補
59 ゲノム解析による原発性アルドステロン症の原因診断学の再構築	神出 計	老年・高血圧内科	1,000,000	厚生労働省 補

小計

15

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
60 (厚生労働科研(分担)・澤)ハイリスク大動脈狭窄症患者に対する経カテーテル的大動脈弁植込み術の有用性の評価-日本における大動脈弁狭窄症に対する総括的治療戦略の構築-	澤 芳樹	心臓血管外科	39,455,470	厚生労働省 補
61 (厚生労働科研(治療推進))治療の実施に関する研究【小児用補助人工心臓】	澤 芳樹	心臓血管外科	500,000	厚生労働省 補
62 重症拡張型心筋症へのbridge-to-transplantation /recoveryを目標とした新規治療法の開発と実践	澤 芳樹	心臓血管外科	420,000,000	厚生労働省 補
63 血液凝固異常症に関する調査研究	川崎 富夫	心臓血管外科	2,000,000	厚生労働省 補
64 移植医療の社会的基盤に関する研究	福高 教偉	心臓血管外科	5,000,000	厚生労働省 補
65 原発性中性脂肪蓄積心筋血管症に対する医師主導型治療へのアプローチ	福高 教偉	心臓血管外科	200,000	厚生労働省 補
66 ハイリスク大動脈狭窄症患者に対する経カテーテル的大動脈弁植込み術の有用性の評価-日本における大動脈弁狭窄症に対する総括的治療戦略の構築-	澤 芳樹	心臓血管外科	52,000,000	厚生労働省 補
67 肺癌に対するWT1ペプチド免疫療法の開発	奥村 明之進	呼吸器外科	8,000,000	厚生労働省 補
68 ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)を用いた悪性胸膜中皮腫に対する効果的治療法の開発研究	奥村 明之進	呼吸器外科	3,000,000	厚生労働省 補
69 リプログラミング技術による消化器癌の新しい診断・治療	石井 秀始	消化器外科	500,000	厚生労働省 補
70 固形がん幹細胞を標的とした革新的治療法の開発に関する研究	石井 秀始	消化器外科	10,000,000	厚生労働省 補
71 切除不能進行・再発胃癌に対する個別化治療に関する研究	佐藤 太郎	消化器外科	400,000	厚生労働省 補
72 CHP/NY-ESO-1ポリペプチドがんワクチンの術後食道癌症例を対象とした多施設共同前期第Ⅱ相臨床試験	土岐 祐一郎	消化器外科	4,000,000	厚生労働省 補
73 治療切除後の再発リスクが高い進行胃がん(スキルス胃がんなど)に対する標準的治療の確立に関する研究	土岐 祐一郎	消化器外科	700,000	厚生労働省 補
74 C型肝炎難治症例の病態解明と抗ウイルス治療に関する研究	永野 浩昭	消化器外科	2,000,000	厚生労働省 補

小計

15

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
75	進行・再発肝細胞癌に対する動注化学療法と分子標的薬併用による新規治療法の確立を目指した臨床試験(PhaseⅢ)ならびに効果を予測するbiomarkerの探索研究	永野 浩昭	消化器外科	800,000	厚生労働省
76	肝移植後C型肝炎に対する治療法の標準化を目指した臨床的ならびに基礎的研究	森 正樹	消化器外科	1,000,000	厚生労働省
77	幹細胞制御によるがん治療法開発のための基盤研究	森 正樹	消化器外科	14,500,000	厚生労働省
78	固形がん幹細胞を標的とした革新的治療法の開発に関する研究	森 正樹	消化器外科	120,000,000	厚生労働省
9	リプログラミング技術による消化器癌の新しい診断・治療	森 正樹	消化器外科	18,000,000	厚生労働省
80	癌医療におけるグレルンの包括的QOL改善療法の開発研究	土岐 祐一郎	消化器外科	3,000,000	厚生労働省
81	新しい薬物療法の導入とその最適化に関する研究	野口 眞三郎	乳腺・内分泌外科	3,000,000	厚生労働省
82	遺伝性女性化乳房の実態把握と診断基準の作成	野口 眞三郎	乳腺・内分泌外科	500,000	厚生労働省
83	胎児仙尾部奇形腫の実態把握・治療指針作成に関する研究	白井 規朗	小児外科	750,000	厚生労働省
84	新生児横隔膜ヘルニアの重症度別治療指針の作成に関する研究	白井 規朗	小児外科	6,500,000	厚生労働省
85	小腸機能不全の治療指針の作成に関する研究	福澤 正洋	小児外科	6,500,000	厚生労働省
86	(厚生労働科研(分担)偽膜角膜炎の実態把握と診断基準確立のための研究	相馬 剛至	眼科	500,000	厚生労働省
87	血管新生黄斑症に対するベパドワクテン療法	辻川 元一	眼科	2,500,000	厚生労働省
88	膠球満状角膜炎の標準的治療レジメンの確立と新規治療法の創出	辻川 元一	眼科	1,600,000	厚生労働省
89	特異性角膜炎の診断および治療方針の確立に関する研究	西田 幸二	眼科	1,000,000	厚生労働省

小計

15

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
90	特発性周辺部角膜炎の診断および治療に関する研究	西田 幸二	眼科	1,000,000	厚生労働省 補
91	ヒト幹細胞を用いた再生医療の臨床実用化のための基盤構築に関する研究	西田 幸二	眼科	16,000,000	厚生労働省 補
92	網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	西田 幸二	眼科	3,000,000	厚生労働省 補
93	自家培養口腔粘膜上皮シート移植による角膜上皮再生治療法の多施設共同臨床試験	西田 幸二	眼科	73,460,000	厚生労働省 補
94	先天性白内障の原因究明と診断基準の創生	不二門 尚	眼科	1,000,000	厚生労働省 補
95	カルバイン阻害剤による角膜内皮細胞のアポトーシス抑制効果の評価	西田 幸二	眼科	1,000,000	厚生労働省 補
96	特発性大脳脊髄液死の診断・治療・予防法の開発を目的とした全国学際的研究	菅野 伸彦	整形外科	1,200,000	厚生労働省 補
97	3次元再生軟骨・骨組織における安全性と有効性の確立	吉川 秀樹	整形外科	3,200,000	厚生労働省 補
98	関節リウマチにおける骨髄・骨格形成細胞間ネットワークの解明と根治療法の開発	吉川 秀樹	整形外科	800,000	厚生労働省 補
99	脊柱筋帯骨化症に関する調査研究	吉川 秀樹	整形外科	2,000,000	厚生労働省 補
100	高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	吉川 秀樹	整形外科	150,000	厚生労働省 補
101	体幹保持機能障害のある身体障害者に対して生体内3次元解析システムを用いた脊椎骨格歪みおよび動態情報フィードバック型革新的体幹保持デバイスの開発	菅本 一臣	整形外科	4,012,000	厚生労働省 補
102	表皮水疱症に有効な新たな医薬品開発に関する研究	玉井 克人	皮膚科	13,000,000	厚生労働省 補
103	薬事申請を旨とした結節性硬化症(TSC)の皮膚病変に対する副作用の少ない外用剤の開発と臨床応用	玉井 克人	皮膚科	200,000	厚生労働省 補
104	稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	玉井 克人	皮膚科	2,000,000	厚生労働省 補

小計

15

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
105	薬事申請を目指した結節性硬化症(TSC)の皮膚病変に対する副作用の少ない外用剤の開発と臨床応用	金田 真理	皮膚科	13,000,000	厚生労働省
106	表皮水疱症に有効な新たな医薬開発に関する研究	金田 真理	皮膚科	200,000	厚生労働省
107	難治性慢性痒疹・皮膚そう痒症の病態解析及び診断基準・治療指針の確立	室田 浩之	皮膚科	500,000	厚生労働省
108	表皮水疱症に有効な新たな医薬開発に関する研究	室田 浩之	皮膚科	200,000	厚生労働省
109	重症多形滲出性紅斑に関する調査研究	小豆澤 宏明	皮膚科	1,500,000	厚生労働省
110	アレルギー疾患のダイナミックな寛化とその背景因子の機能的解析による医療経済の改善効果に関する調査研究	片山 一朗	皮膚科	19,500,000	厚生労働省
111	特発性後天性全身性無汗症の病態解析及び治療指針の確立	片山 一朗	皮膚科	500,000	厚生労働省
112	神経皮膚症候群に関する調査研究	片山 一朗	皮膚科	1,000,000	厚生労働省
113	適切なスキンケア、薬物治療方法の確立とアトピー性皮膚炎の発症・増悪予防、自己管理に関する研究	片山 一朗	皮膚科	3,600,000	厚生労働省
114	難治性重症原発性局所多汗症の病態解析及び治療指針の確立	片山 一朗	皮膚科	1,000,000	厚生労働省
115	難治性慢性痒疹・皮膚そう痒症の病態解析及び診断基準・治療指針の確立	片山 一朗	皮膚科	1,000,000	厚生労働省
116	白癩・白皮症の本邦における診断基準及び治療指針の確立	片山 一朗	皮膚科	13,000,000	厚生労働省
117	表皮水疱症に有効な新たな医薬開発に関する研究	片山 一朗	皮膚科	200,000	厚生労働省
118	ウイルス動脈輪閉塞症の診断・治療に関する研究	北川 一夫	神経内科・脳卒中科	1,100,000	厚生労働省
119	動脈硬化の多角的評価による脳卒中個別化治療開発に関する研究	北川 一夫	神経内科・脳卒中科	500,000	厚生労働省

小計

15

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
120	神経変性疾患に関する調査研究	望月 秀樹	神経内科・脳卒中科	1,300,000	厚生労働省 補
121	多発性硬化症に対する新規分子標的治療法の開発	望月 秀樹	神経内科・脳卒中科	2,700,000	厚生労働省 補
122	原発性中性脂肪蓄積心筋血管症に対する医師主導型治療へのアプローチ	隅寿 恵	神経内科・脳卒中科	200,000	厚生労働省 補
123	免疫性神経疾患に関する調査研究	中辻 裕司	神経内科・脳卒中科	900,000	厚生労働省 補
24	精神疾患の生物学的病態解明研究—最新の神経科学・分子遺伝学との融合—	武田 雅俊	神経科・精神科	24,300,000	厚生労働省 補
125	認知症の包括的ケア提供体制の確立に関する研究	武田 雅俊	神経科・精神科	1,000,000	厚生労働省 補
126	プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	武田 雅俊	神経科・精神科	1,000,000	厚生労働省 補
127	超細密染色体分析から捉え直すヒト発達障害研究	橋本 亮太	神経科・精神科	1,500,000	厚生労働省 補
128	慢性疼痛の実態の解明と対応策の開発に関する研究	橋本 亮太	神経科・精神科	500,000	厚生労働省 補
129	リン酸化タウの凝集阻害及び分解促進を標的とした新しいアルツハイマー病の根本治療法に関する研究	武田 雅俊	神経科・精神科	8,992,000	厚生労働省 補
130	治療抵抗性統合失調症に対する治療戦略のためのデータベース構築に関する研究	武田 雅俊	神経科・精神科	500,000	厚生労働省 補
131	ブレイン・マシン・インターフェースによる運動・コミュニケーション機能支援装置の臨床研究	平田 雅之	脳神経外科	38,350,000	厚生労働省 補
132	脳脊髄液減少症の診断・治療法の確立に関する研究	吉峰 俊樹	脳神経外科	1,000,000	厚生労働省 補
133	がん対策推進基本計画とがん診療連携拠点病院の小児がん診療体制への適用に関する研究	吉峰 俊樹	脳神経外科	300,000	厚生労働省 補
134	「痛み」に関する教育と情報提供システムの構築に関する研究	柴田 政彦	麻酔科	5,200,000	厚生労働省 補

小計

15

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
135	脊髄障害性疼痛症候群の実態の把握と病態の解明に関する研究	柴田 政彦	麻酔科	300,000	厚生労働省 補
136	慢性疼痛の実態の解明と対応策の開発に関する研究	柴田 政彦	麻酔科	1,500,000	厚生労働省 補
137	日本における子宮頸癌予防HPVワクチンの医療経済的評価のための大規模臨床研究	榎本 隆之	産科・婦人科	13,000,000	厚生労働省 補
138	ヒト組織長期維持SCIDマウスを用いた医薬品等の有効性、安全性評価システムの構築	榎本 隆之	産科・婦人科	1,000,000	厚生労働省 補
139	原発性中性脂肪蓄積心筋血管症に対する医師主導型治療へのアプローチ	木村 正	産科・婦人科	200,000	厚生労働省 補
140	妊産婦死亡及び乳幼児死亡の原因究明と予防策に関する研究	木村 正	産科・婦人科	1,000,000	厚生労働省 補
141	グルコーストランスポーター1欠損症候群の実態と診断治療方針に関する研究	下野 九理子	小児科	600,000	厚生労働省 補
142	小児期のウイルス性肝炎に対する治療法の標準化に関する研究	三善 陽子	小児科	1,000,000	厚生労働省 補
143	ライソゾーム病(ファブリ病含む)に関する調査研究	酒井 規夫	小児科	2,550,000	厚生労働省 補
144	ヒト組織長期維持SCIDマウスを用いた医薬品等の有効性、安全性評価システムの構築	野々村 祝夫	泌尿器科	1,000,000	厚生労働省 補
145	肺癌に対するWT1ペプチド免疫療法の開発	富山 憲幸	放射線診断科	2,000,000	厚生労働省 補
146	難治性血管腫・血管奇形についての調査研究	大須賀 慶悟	放射線診断科	700,000	厚生労働省 補
147	がんの診療科データベースとJapanese National Cancer Database(JNCDB)の構築と運用	小川 和彦	放射線治療科	168,460	厚生労働省 補
148	高精度放射線治療システムの実態調査と臨床評価に関する研究	小川 和彦	放射線治療科	600,000	厚生労働省 補
149	放射線治療期間の短縮による治療の有効性と安全性に関する研究	吉岡 靖生	放射線治療科	500,000	厚生労働省 補

小計

15

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
150	難知性神経因性疼痛に対する大脳一次運動野刺激の多施設共同研究: 継続的反复的経頭蓋磁気刺激による効果判定とメカニズム解析	下瀬川 恵久	核医学診療科	400,000	厚生労働省 補
151	脳脊髄液減少症の診断・治療法の確立に関する研究	畑澤 順	核医学診療科	1,000,000	厚生労働省 補
152	同座下垂体機能障害に関する調査研究	巽 圭太	臨床検査部	1,000,000	厚生労働省 補
153	(厚生労働科研(分担)・和田)重症新生児のアウトカム改善に関する多施設共同研究	和田 和子	総合周産期母子医療センター	1,000,000	厚生労働省 補
54	閉塞性血管腫・血管奇形についての調査研究	森井 英一	病理部	700,000	厚生労働省 補
155	(厚生労働科研(分担)・高山)血液凝固異常症に関する調査研究	高山 佳昭	輸血部	3,500,000	厚生労働省 補
156	(厚生労働科研(治験推進)・高山)慢性特異性血小板減少性紫斑病(ITP)に対するリツキシマブの有効性と安全性の検討を目的とした第Ⅲ相オープンラベル試験	高山佳昭	輸血部	1,000,000	厚生労働省 補
157	(厚生労働科研(分担))血小板低値例へのインターフェロン治療法の確立を目指した基礎および臨床的研究	高山佳昭	輸血部	800,000	厚生労働省 補
158	救急医療支援センター運営事業	鎌方 安行	高度救命救急センター	108,595,000	厚生労働省 補
159	(厚生労働科研(分担))原発性中性脂肪蓄積心臓血管症に対する医師主導型治療へのアプローチ	中谷 大作	ハートセンター	200,000	厚生労働省 補
160	(厚生労働科研②)重症拡張型心臓病へのbridge-to-transplantation/recoveryを目指した新規治療法の開発と実践	澤 芳樹	ハートセンター	105,597,770	厚生労働省 補
161	(厚生労働科研(分担))薬事申請を目指した結節性硬化症(TSC)の皮膚病変に対する副作用の少ない外用剤の開発と臨床応用	中村 歩	薬剤部	600,000	厚生労働省 補
162	(厚生労働科研(分担))治療抵抗性統合失調症に対する抑肝散の有用性と安全性に関する多施設共同二重盲検ランダム化比較試験	江副 幸子	未来医療センター	700,000	厚生労働省 補
163	(厚生労働科研(分担))表皮水疱症に有効な新たな医薬品開発に関する研究	江副 幸子	未来医療センター	200,000	厚生労働省 補
164	(厚生労働科研(分担))重症拡張型心臓病へのbridge-to-transplantation/recoveryを目指した新規治療法の開発と実践	松山 晃文	未来医療センター	106,000,000	厚生労働省 補

小計

15

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
165	(厚生労働科研(分担))表皮水疱症に有効な新たな医薬開発に関する研究	名井 陽	未来医療センター	200,000	厚生労働省 補
166	(厚生労働科研(分担))薬事申請を旨とした種痘性硬化症(TSC)の皮膚病変に対する副作用の少ない外用剤の開発と臨床応用	名井 陽	未来医療センター	200,000	厚生労働省 補
167	(厚生労働科研(分担))治療抵抗性統合失調症に対する抑肝散の有用性と安全性に関する多施設共同二重盲検ランダム化比較試験	名井陽	未来医療センター	600,000	厚生労働省 補
168	(厚生労働科研(分担)・澤)治療抵抗性統合失調症に対する抑肝散の有用性と安全性に関する多施設共同二重盲検ランダム化比較試験	澤 芳樹	未来医療センター	14,000,000	厚生労働省 補
169	(厚生労働科研(分担))心不全に対する再生医療と人工心臓の複合戦略—CD29high CD34low c-kit+ CD140a+ 骨髄細胞による臨床研究と基礎研究—	齋藤 充弘	未来医療センター	800,000	厚生労働省 補
170	(厚生労働科研(分担))原発性中性脂肪蓄積心筋血管症に対する医師主導型治療へのアプローチ	安井 洋子	栄養管理室	200,000	厚生労働省 補
171	がん診療連携拠点病院機能強化事業	福澤 正洋	病院長	16,193,000	厚生労働省 補
172	感染症対策特別促進事業	福澤 正洋	病院長	2,174,000	厚生労働省 補
173	災害拠点病院設備整備・災害派遣医療チーム体制整備			4,527,000	厚生労働省 補
174	早期・探索的臨床試験拠点整備事業(整備費)			212,684,459	厚生労働省 補
175	心筋細胞におけるクロマチンリモデリング制御機構の解明と細胞機能維持への試み	朝野 仁裕	循環器内科	3,640,000	日本学術振興会 補
176	Wntシグナルによる心筋分化・心臓疾患発症機序の解明とそれに基づく治療法の開発	小室 一成	循環器内科	33,280,000	日本学術振興会 補
177	インスリンシグナルによる心機能調節機構の解明	塩島 一朝	循環器内科	7,150,000	日本学術振興会 補
178	新生児呼吸窮迫症候群における肺上皮Aktシグナルの病態生理学的意義の解明	塩島 一朝	循環器内科	2,340,000	日本学術振興会 補
179	内皮機能障害から動脈硬化へ至る分子機構の解明	黒田 忠	循環器内科	2,210,000	日本学術振興会 補

小計

15

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
180	拡張不全発症・進行における食塩感受性の役割について 内因性ステロイド物質の関与	坂田 泰史	循環器内科	910,000	日本学術振興会 補
181	動脈硬化関連因子LTAIに関連してマクロファージ泡沫化に関わるマイクロRNAの同定	坂田 泰彦	循環器内科	1,560,000	日本学術振興会 補
182	心房細動の病態基盤としての炎症ネットワークの解明	赤澤 宏	循環器内科	8,190,000	日本学術振興会 補
183	脂肪酸トランスポーターCD36の欠損マウスを用いた心筋症の発症機序の解明	増田 大作	循環器内科	2,210,000	日本学術振興会 補
184	心不全発症における細胞内分解機構の検討とその治療への応用	大津 欣也	循環器内科	5,200,000	日本学術振興会 補
185	心臓組織内の内皮細胞を起点としたシグナルネットワークによる心筋保護の分子機構	中岡 良和	循環器内科	390,000	日本学術振興会 補
186	心臓幹細胞は生理的にどのような動きをしているのか?	内藤 篤彦	循環器内科	1,560,000	日本学術振興会 補
187	老化および糖尿病発症におけるC1q誘導性Wntシグナルの果たす役割の解明	内藤 篤彦	循環器内科	10,140,000	日本学術振興会 補
188	劇症型心筋炎の画期的診断法・治療法の開発	南野 哲男	循環器内科	3,770,000	日本学術振興会 補
189	ミトコンドリアを起点とする慢性炎症機序の解明と心不全治療への応用	彦惣 俊吾	循環器内科	9,100,000	日本学術振興会 補
190	中性脂肪蓄積心血管症に対する栄養療法の開発	平野 賢一	循環器内科	4,030,000	日本学術振興会 補
191	常染色体劣性遺伝多発性囊泡腎遺伝子の細胞内情報伝達における役割の研究	貝森 淳哉	腎臓内科	1,430,000	日本学術振興会 補
192	糖尿病におけるアルブミン尿、蛋白尿出現メカニズムの糖鎖からの検討	岩谷 博次	腎臓内科	1,300,000	日本学術振興会 補
193	CD28スーパーアゴニストによる制御性T細胞増殖効果とその治療への応用	高島 義嗣	腎臓内科	780,000	日本学術振興会 補
194	25(OH) vitamin Dによるlipid raft機能調節機構の検討	松井 功	腎臓内科	1,430,000	日本学術振興会 補

小計

15

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
195	卵巣由来間葉系幹細胞移植による再生医療の基礎的検討	猪阪 善隆	腎臓内科	1,040,000	日本学術振興会 補
196	IgA腎症の菌種特異的細菌素の検討	長澤 康行	腎臓内科	1,560,000	日本学術振興会 補
197	アダプター蛋白質Gab1をターゲットとした新規肝癌分子標的治療法の開発	吉田 雄一	消化器内科	4,030,000	日本学術振興会 補
198	C型肝炎に対する効果的治療戦略探索に向けた免疫細胞内IFNシグナル伝達機構の解析	宮城 琢也	消化器内科	1,430,000	日本学術振興会 補
199	骨髄系血管・免疫前駆細胞を標的とした新規肝癌治療法の開発	考藤 達哉	消化器内科	1,170,000	日本学術振興会 補
200	細胞内シグナルを分子標的としたC型肝炎ウイルス増殖の制御	石田 永	消化器内科	1,430,000	日本学術振興会 補
201	肝癌幹細胞に対する免疫治療とその分子機構の解析	翼 智秀	消化器内科	1,300,000	日本学術振興会 補
202	肝細胞癌の発生と進展におけるオートファジーの意義と制御機構の解析	竹原 徹郎	消化器内科	7,540,000	日本学術振興会 補
203	非アルコール性脂肪肝炎における肝細胞死とBcl-2ネットワーク	竹原 徹郎	消化器内科	1,300,000	日本学術振興会 補
204	microRNA発現の網羅的解析に基づいたCagAの細胞形質に及ぼす影響の検討	辻井 正彦	消化器内科	910,000	日本学術振興会 補
205	胃食道逆流症の発症およびバレット食道癌への進展におけるアディポネクチンの役割	渡部 健二	消化器内科	1,040,000	日本学術振興会 補
206	粘膜免疫誘導組織および共生細菌のNSAIDs消化管粘膜傷害への関与の解明	飯島 英樹	消化器内科	2,470,000	日本学術振興会 補
207	癌化過程におけるSTAT分子の役割—STAT相互の活性化シフトを介して	法水 淳	消化器内科	780,000	日本学術振興会 補
208	肝特異的ヘパリン結合性上皮増殖因子様増殖因子欠損マウスを用いた肝再生機構の解明	木曾 真一	消化器内科	650,000	日本学術振興会 補
209	睡眠時無呼吸低呼吸症候群と心血管病における内臓脂肪およびアディポネクチンの解析	岸田 堅	内分泌・代謝内科	1,430,000	日本学術振興会 補

小計

15

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
210 探β細胞βドウ薬毒性の分子機構および治療法の検討—転写因子PDX-1を中心に—	金藤 秀明	内分泌・代謝内科	1,040,000	日本学術振興会
211 発症直後患者尿組織を用いた創症1型糖尿病発症分子の同定とその検証	今川 彰久	内分泌・代謝内科	1,560,000	日本学術振興会
212 2型糖尿病におけるMafAの重要性の検討	松岡 孝昭	内分泌・代謝内科	1,040,000	日本学術振興会
213 アディポネクチンの組織蓄積作用と発現調節因子の解明	前田 法一	内分泌・代謝内科	1,300,000	日本学術振興会
214 分化脂肪細胞内におけるアディポネクチンの分泌経路の同定と調節機構の解明	大屋 健	内分泌・代謝内科	1,170,000	日本学術振興会
215 膵膵および血管内皮細胞由来新規内分泌因子に関する研究	福原 淳範	内分泌・代謝内科	910,000	日本学術振興会
216 酸化ストレス関連遺伝子多型の集積が糖尿病大血管症の発症・進展に及ぼす影響の検討	片上 直人	内分泌・代謝内科	1,300,000	日本学術振興会
217 アディポネクチンの結合蛋白を介した血管代謝機構の解明	木原 進士	内分泌・代謝内科	1,300,000	日本学術振興会
218 肺線維症におけるテラスパニン(CD9, CD151)の機能解析	武田 吉人	呼吸器内科	1,170,000	日本学術振興会
219 多剤耐性小細胞肺癌の分子標的治療	木島 貴志	呼吸器内科	1,300,000	日本学術振興会
220 肺癌に対する、癌抗原WT1を標的としたペプチドワクチン療法	岡 芳弘	免疫・アレルギー内科	910,000	日本学術振興会
221 肺癌に対する化学療法併用WT1ペプチドワクチン療法の開発と抗腫瘍免疫効果の解析	西田 純幸	免疫・アレルギー内科	1,300,000	日本学術振興会
222 新規リンパ球初期分化制御分子SFRP1の生理的機能と作用機序の解明	横田 貴史	血液・腫瘍内科	1,430,000	日本学術振興会
223 抗アポトーシス分子アナモルシンの機能解析と造血における役割	金倉 謙	血液・腫瘍内科	6,240,000	日本学術振興会
224 細胞増殖・不老化を阻害する低分子化合物スクリーニングと創薬化	金倉 謙	血液・腫瘍内科	1,950,000	日本学術振興会

小計

15

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
225	DNA修復経路におけるRUNX1/AML1の機能解析	佐藤 友亮	血液・腫瘍内科	2,860,000	日本学術振興会 補
226	Bリン/バ球の生存・増殖における抗アポトーシス分子アナモルシンの役割の解析	柴山 浩彦	血液・腫瘍内科	1,300,000	日本学術振興会 補
227	遺伝子改変マウスによる宿主免疫調節候補分子の解析:免疫機構の人為的操作を目指して	織谷 健司	血液・腫瘍内科	1,300,000	日本学術振興会 補
228	造血幹細胞特異的遺伝子の網羅的解析:自己複製-分化関連分子の同定	前田 哲生	血液・腫瘍内科	1,300,000	日本学術振興会 補
229	悪性神経腫瘍に対するWT1ペプチドワクチン療法の抗腫瘍効果を増強する治療法の開発	坪井 昭博	血液・腫瘍内科	1,300,000	日本学術振興会 補
230	インテグリン活性化制御分子における機能部位の同定と新たな治療法への展開	田所 誠司	血液・腫瘍内科	2,210,000	日本学術振興会 補
231	CBF白血病におけるKIT遺伝子変異付加による予後増悪分子機構の解析	福島 健太郎	血液・腫瘍内科	1,040,000	日本学術振興会 補
232	酸化脂質によるアンジオテンシン2受容体活性化の機序の解明と病態生理学的意義の検討	山本 浩一	老年・高血圧内科	2,860,000	日本学術振興会 補
233	アルツハイマー病と糖尿病の相互的な病態発症機序の解明	森下 竜一	老年・高血圧内科	1,170,000	日本学術振興会 補
234	血管からみたアルツハイマー病の新規治療法の開発	森下 竜一	老年・高血圧内科	6,240,000	日本学術振興会 補
235	老化関連遺伝子因子が健康長寿に及ぼす影響:老化表現型に関するゲノム疫学研究基盤整備	神出 計	老年・高血圧内科	1,300,000	日本学術振興会 補
236	加齢性筋肉減弱症における筋メタボリズムの意義:筋萎縮モデル動物を用いた検討	杉本 研	老年・高血圧内科	1,300,000	日本学術振興会 補
237	認知機能と糖代謝の相互作用—しい治療ターゲットとしてのAngIV-IRAP系—	大石 充	老年・高血圧内科	2,730,000	日本学術振興会 補
238	認知機能減退に対する新規診断法の開発(エピジェネティクスの臨床応用)	竹屋 泰	老年・高血圧内科	3,120,000	日本学術振興会 補
239	糖尿病とアルツハイマー病の相互病態発症におけるインスリン・シグナリングの役割	里 直行	老年・高血圧内科	6,110,000	日本学術振興会 補

小計

15

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
240	Apoptタンパク質による老化誘導機構の解析	樂木 宏実	老年・高血圧内科	3,380,000	日本学術振興会 補
241	サルコペニアモデル動物の開発と成因解明:慢性閉塞性肺疾患モデルマウスを用いた検討	樂木 宏実	老年・高血圧内科	1,560,000	日本学術振興会 補
242	サイトカイン網羅解析による膠原病性肺高血圧・レイノー症状の病態解析	萩原 圭祐	漢方医学科	2,210,000	日本学術振興会 補
243	人工幹細胞ニッチと幹細胞誘導因子を用いた幹細胞制御心筋再生治療法の確立	澤 芳樹	心臓血管外科	9,100,000	日本学術振興会 補
244	人工心臓及び再生医療を用いた重症心不全に対する集学的治療法の確立	宮川 繁	心臓血管外科	7,020,000	日本学術振興会 補
245	アディポネクチン産生細胞シートを用いた新規大動脈瘤治療に関する研究	金 啓和	心臓血管外科	1,170,000	日本学術振興会 補
246	計算流体力学を応用した心血管手術支援プログラムの開発と臨床応用	上野 高義	心臓血管外科	1,690,000	日本学術振興会 補
247	iPS細胞由来心筋細胞移植の臨床応用を目指した基盤技術の開発	西 宏之	心臓血管外科	2,210,000	日本学術振興会 補
248	マイクロRNAを用いた心房細動発症機序の解明と新規治療法の確立	倉谷 徹	心臓血管外科	2,080,000	日本学術振興会 補
249	大動脈解離に対する統括的治療戦略の構築	倉谷 徹	心臓血管外科	11,180,000	日本学術振興会 補
250	miRNAを用いた新規大動脈瘤バイオマーカーの開発とその治療応用	鳥飼 慶	心臓血管外科	1,950,000	日本学術振興会 補
251	全大動脈対応型ナビゲーションシステムによる新規ステントグラフトシステムの開発	島村 和男	心臓血管外科	1,170,000	日本学術振興会 補
252	臨床応用を目指した死体臓器移植グラフトの免疫寛容に関する実験的検討	福高 教偉	心臓血管外科	6,110,000	日本学術振興会 補
253	心筋線維芽細胞による心筋再生機序を応用した重症心不全治療の検討	福高 五月	心臓血管外科	2,990,000	日本学術振興会 補
254	アディポネクチン産生細胞シートを用いた心不全治療法の開発	澤 芳樹	心臓血管外科	1,040,000	日本学術振興会 補

小計

15

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
255	Dormant Cancer Cellの分布に基づいた肺癌術後転移再発抑制の試み	井上 匡美	呼吸器外科	650,000	日本学術振興会 補
256	肺移植後の拒絶反応抑制の治療方法の開発—IL-6増幅回路の遮断を用いた治療戦略—	奥村 明之進	呼吸器外科	10,010,000	日本学術振興会 補
257	腫瘍微小環境を標的とした肺癌治療	新谷 康	呼吸器外科	1,365,000	日本学術振興会 補
258	肺移植の拒絶反応抑制のためのサイトカイン受容体に対する分子標的療法の開発	中桐 伴行	呼吸器外科	650,000	日本学術振興会 補
259	遊離癌細胞をターゲットとした新たな肺癌治療戦略の開発	澤端 章好	呼吸器外科	4,420,000	日本学術振興会 補
260	マイクロRNAによる安全で革新的なプログラミング法の開発	石井 秀始	消化器外科	2,210,000	日本学術振興会 補
261	革新的新規治療法開発のための基盤創出—消化器癌幹細胞と宿主細胞の再プログラム—	石井 秀始	消化器外科	10,270,000	日本学術振興会 補
262	iPS化ADSCを用いた微小環境の再生・再構築による次世代型臓器移植法の研究開発	大村 仁昭	消化器外科	1,300,000	日本学術振興会 補
263	マイクロRNA情報ネットワークに基づく癌幹細胞の包括的制御	原口 直紹	消化器外科	1,690,000	日本学術振興会 補
264	高精度の分子遺伝学的評価による食道癌治療成績向上のための包括的研究	森 正樹	消化器外科	39,520,000	日本学術振興会 補
265	進行肝臓癌に対する肝特異的分子生物学的特性を応用した新規治療法の展開と応用	永野 浩昭	消化器外科	5,460,000	日本学術振興会 補
266	肝移植における非侵襲的グラフト病態診断法の確立とリアルタイム免疫応答モニタリング	丸橋 繁	消化器外科	1,430,000	日本学術振興会 補
267	食道癌化学療法耐性における骨髄由来細胞の機能解明とそれを標的とした治療開発	宮田 博志	消化器外科	1,430,000	日本学術振興会 補
268	膵臓癌に対する術前化学放射線治療の感受性予測法構築におけるMicroRNAの関与	江口 英利	消化器外科	1,300,000	日本学術振興会 補
269	胃癌患者末梢血中の癌細胞由来浮遊DNA検出法の確立	黒川 幸典	消化器外科	1,950,000	日本学術振興会 補

小計

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
270	臨床応用へ向けた癌細胞と微小環境の役割解明に関する包括的研究	山本 浩文	消化器外科	5,460,000	日本学術振興会 補
271	癌幹細胞を標的とした糖鎖改変降糖ワクチン療法の開発と次世代型抗体医薬の創薬	種村 匡弘	消化器外科	1,300,000	日本学術振興会 補
272	炎症と化学療法抵抗性との関連－胆道癌における解析と克服－	小林 省吾	消化器外科	1,560,000	日本学術振興会 補
273	新たなヒト多能性幹細胞(iMuse細胞)の人工的作成	森 正樹	消化器外科	2,210,000	日本学術振興会 補
274	炎症性腸疾患患者におけるTh17分化誘導異常の解析と制御法に関する研究	水島 恒和	消化器外科	1,170,000	日本学術振興会 補
275	食道癌術後管理におけるグレリンのサイトカイン分泌抑制作用効果の検討	瀧口 修司	消化器外科	2,340,000	日本学術振興会 補
276	大腸がんの予後・治療応答性予測診断システムの臨床応用と実用化の研究	竹政 伊知朗	消化器外科	1,950,000	日本学術振興会 補
277	炎症性腸疾患に対する炭酸ガス送気消化管内視鏡の安全性と有用性の検討	中島 清一	消化器外科	1,040,000	日本学術振興会 補
278	細胞内腫瘍抗原を標的とした抗体による免疫療法の試みー化学療法との併用ー	土岐 祐一郎	消化器外科	1,560,000	日本学術振興会 補
279	オスナ法によるセンチネルリンパ節微小転移の臨床的意義と術前化学療法への応用	玉木 康博	乳腺・内分泌外科	2,470,000	日本学術振興会 補
280	OS-MSP法を用いた乳癌診療の効率化と個別化	中山 黄寛	乳腺・内分泌外科	1,560,000	日本学術振興会 補
281	脂肪組織由来幹細胞を用いた気管軟骨再生法に関する研究	臼井 規朗	小児外科	2,730,000	日本学術振興会 補
282	小児横紋筋肉腫における癌幹細胞の同定と免疫療法に向けた基礎的研究	上原 秀一郎	小児外科	2,600,000	日本学術振興会 補
283	機能的骨構造を有する小児の気管再生法に関する研究	神山 雅史	小児外科	1,430,000	日本学術振興会 補
284	横紋筋肉腫に対するヘッジホグシグナルの阻害による増殖・浸潤・転移抑制に関する研究	大植 孝治	小児外科	2,730,000	日本学術振興会 補

小計

15

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
285	小児腎腫瘍に対するリスク分類に基づく標準的治療確立および新規治療開発のための研究	福澤 正洋	小児外科	8,970,000	日本学術振興会 補
286	膵管不全の新たな治療法としての膵管再生促進因子の研究	和佐 勝史	小児外科	1,040,000	日本学術振興会 補
287	ラットモデルを用いたアルツハイマー病治療薬による線内障に対する神経保護治療の開発	三木 篤也	眼科	650,000	日本学術振興会 補
288	眼内新生血管発生・成熟・消退メカニズムの解明-アペリンその他の分子の関与	五味 文	眼科	1,300,000	日本学術振興会 補
289	短焦点高速型波面センサーを用いたオキュラーサーフェス疾患の光学的特性評価	高 静花	眼科	1,170,000	日本学術振興会 補
290	線内障モデルにおける放射光微小血管造影法による球後隅動脈微小血管の描出	松下 賢治	眼科	2,080,000	日本学術振興会 補
291	難治性視神経症に対する電気刺激治療の発展的研究	森本 壮	眼科	1,040,000	日本学術振興会 補
292	細胞外マトリックスを介した眼科疾患メカニズムの解明と失明予防法の研究	生野 恭司	眼科	1,560,000	日本学術振興会 補
293	次世代光干渉断層計を用いた包括的角膜光学的特性評価	前田 直之	眼科	1,170,000	日本学術振興会 補
294	眼内血管新生疾患における血管成熟の制御と造血系幹細胞との関連	大島 佑介	眼科	1,300,000	日本学術振興会 補
295	脈絡膜新生血管における樹状細胞の役割	中井 慶	眼科	910,000	日本学術振興会 補
296	視細胞死の機構の詳細な解明とその阻止	辻川 元一	眼科	1,430,000	日本学術振興会 補
297	加齢黄斑変性の病態解明—光ストレスによる脂質酸化と自然免疫の関与	瓶井 資弘	眼科	650,000	日本学術振興会 補
298	電気刺激による視覚回復の基礎的・臨床的研究	不二門 尚	眼科	13,650,000	日本学術振興会 補
299	良性発作性頭位めまい症の眼振三次元解析からの予後推測	今井 貴夫	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	260,000	日本学術振興会 補

小計

15

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
300	仮想現実による高齢者の空間認知の研究:運動器不安定症への対策に向けて	西池 季隆	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,170,000	日本学術振興会 補
301	分解型ガレクテン-3による甲状腺腫瘍の診断	竹中 幸則	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,730,000	日本学術振興会 補
302	p53コドン72遺伝子多型と腫瘍の生物学的活性に基づく化学放射線療法の予後診断	猪原 秀典	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,560,000	日本学術振興会 補
303	細胞を用いた成長教育帯の再生	吉川 秀樹	整形外科	1,430,000	日本学術振興会 補
304	骨肉腫治療標的分子の探索～ラット発癌モデルとマウス肺転移モデルによる解析～	橋本 伸之	整形外科	1,820,000	日本学術振興会 補
305	骨関節三次元動態解析による全関節動態のデータベース化	菅本 一臣	整形外科	5,200,000	日本学術振興会 補
306	医療診断技術の標準化のためのフリーライセンス型関節疾患解析プラットフォームの開発	西井 孝	整形外科	5,460,000	日本学術振興会 補
307	関節筋のin vivo四次元動態解析:正常筋、韧带損傷後及び韧带再建後	前 達雄	整形外科	3,250,000	日本学術振興会 補
308	新世代手術デバイスによる超高精度四肢矯正方法の開発	村瀬 剛	整形外科	5,070,000	日本学術振興会 補
309	末梢神経障害部位を抽出する新しい検査方法の開発	村瀬 剛	整形外科	1,560,000	日本学術振興会 補
310	ヒト運動器細胞・両系系幹細胞の三次元力学刺激応答におけるシグナル伝達機構の解明	中田 研	整形外科	13,780,000	日本学術振興会 補
311	関節リウマチにおける直鎖状ポリウピキチン化による新規NF- $\kappa$ B活性化機序の解明	富田 哲也	整形外科	1,300,000	日本学術振興会 補
312	自己血由来スキャフォールドを用いた運動器組織への分化誘導と再生医療への応用	北 圭介	整形外科	1,040,000	日本学術振興会 補
313	細胞膜一核内シタル分子Hic-5の皮膚創傷治癒における役割の解明	乾 重樹	皮膚科	1,690,000	日本学術振興会 補
314	骨髄間系系幹細胞の間質-上皮転換機構解明と皮膚再生医療への応用	玉井 克人	皮膚科	4,420,000	日本学術振興会 補

小計

15

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
315	mTORの新規調節因子による神経皮膚症候群の神経と腫瘍病変の共通制御機構の解明	金田 真理	皮膚科	1,300,000	日本学術振興会 補
316	不活化センダイウイルス粒子を用いた悪性黒色腫治療における抗腫瘍免疫基盤の確立	種村 篤	皮膚科	2,080,000	日本学術振興会 補
317	ケラチン5を異所性発現する未熟B細胞様リンパ球系細胞を用いた免疫療法の開発	小豆澤 宏明	皮膚科	2,210,000	日本学術振興会 補
318	皮膚再生機構の解明ー毛包細胞内シグナル伝達機構の解析ー	板見 智	皮膚科	2,210,000	日本学術振興会 補
319	レチノイン酸を主軸とした皮膚創傷治癒機構の解析	坂井 靖夫	形成外科	2,600,000	日本学術振興会 補
320	下肢静脈瘤に対する硬化療法の可視化に関する研究	菊池 守	形成外科	650,000	日本学術振興会 補
321	頭蓋顎顔面骨形成におけるレチノイン酸の役割	細川 互	形成外科	1,300,000	日本学術振興会 補
322	陰圧吸引を用いた神経延長法並びに陰圧下の末梢神経再生に関する研究	松田 健	形成外科	1,170,000	日本学術振興会 補
323	抗GM-CSF抗体投与によるALS治療の試み	奥野 龍禎	神経内科・脳卒中科	1,950,000	日本学術振興会 補
324	TDP-43の神経細胞における発現は筋萎縮性側索硬化症の臨床経過に因与する	隅 寿恵	神経内科・脳卒中科	650,000	日本学術振興会 補
325	新規PETIによる多発性硬化症およびNMOのアストロサイト機能評価	中辻 裕司	神経内科・脳卒中科	1,300,000	日本学術振興会 補
326	脳虚血急性期病態における血管内皮障害の機序解明とその制御法	八木田 佳樹	神経内科・脳卒中科	650,000	日本学術振興会 補
327	造血因子の脳軟膜側副血行促進機序の解明ー脳梗塞急性期への臨床応用を目指してー	北川 一夫	神経内科・脳卒中科	11,310,000	日本学術振興会 補
328	統合失調症リスク遺伝子ZNF804Aの機能解析	安田 由華	神経科・精神科	1,820,000	日本学術振興会 補
329	近赤外分光法による脳血流同時測定を用いた精神疾患の経頭蓋磁気刺激治療法の開発研究	岩瀬 真生	神経科・精神科	910,000	日本学術振興会 補

小計

15

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
330	眼球運動計測および近赤外光脳機能計測を用いた子どもの心の発達障害に関する研究	喜多村 祐里	神経科・精神科	910,000	日本学術振興会 補
331	統合失調症のリスク遺伝子による治療法の開発研究	橋本 亮太	神経科・精神科	2,470,000	日本学術振興会 補
332	統合失調症の中間表現型のゲノムワイド関連解析	橋本 亮太	神経科・精神科	5,200,000	日本学術振興会 補
333	統合失調症のリスク遺伝子CHI3L1の機能解析	山森 英長	神経科・精神科	2,210,000	日本学術振興会 補
334	モデル動物など多角的研究方法によるアルツハイマー病関連遺伝子の同定とその機構解明	森原 剛史	神経科・精神科	2,210,000	日本学術振興会 補
335	脳磁図のガンマ帯域活動解析による統合失調症の脳部位間ネットワーク異常の検討	石井 良平	神経科・精神科	650,000	日本学術振興会 補
336	脳神経精神疾患患者脳脊髄液の分子レベル解析による疾患関連物質探索研究	大河内 正康	神経科・精神科	1,300,000	日本学術振興会 補
337	プレセリニンセクレターゼによるNICD、アミロイドβなどの産生機構の解析	田上 真次	神経科・精神科	2,210,000	日本学術振興会 補
338	家族性認知症関連蛋白の重合・蓄積・分解過程の検討と治療薬開発	武田 雅俊	神経科・精神科	4,290,000	日本学術振興会 補
339	悪性神経膠腫における新規癌幹細胞マーカー同定と分子標的治療への試み	香川 尚己	脳神経外科	1,170,000	日本学術振興会 補
340	脊髄再生に必要な血管新生を誘導する多様な細胞組み合わせ移植	岩月 幸一	脳神経外科	2,860,000	日本学術振興会 補
341	てんかんモデルに対する緩和外科治療の作用機序の解明—PETイメージを用いて	貴島 晴彦	脳神経外科	1,040,000	日本学術振興会 補
342	ヒト大脳の脳脊髄液内機能解剖の解明	吉峰 俊樹	脳神経外科	5,720,000	日本学術振興会 補
343	悪性脳腫瘍に対するWT1ペプチドワクチン療法の前後予測因子と免疫応答に関する研究	橋本 直哉	脳神経外科	3,120,000	日本学術振興会 補
344	悪性脳腫瘍WT1免疫療法でのin vivoイメージング技術の開発	千葉 泰良	脳神経外科	2,210,000	日本学術振興会 補

小計

15

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
345	PET-MRIを用いた、びまん性脳損傷が脳神経代謝にあたる影響に関する研究	藤中 俊之	脳神経外科	1,690,000	日本学術振興会 補
346	視野ネットワークにもとづいたブレイン・マシン・インターフェースによる機能再建	平田 雅之	脳神経外科	8,190,000	日本学術振興会 補
347	胚芽腫発育における宿主骨髄造血幹細胞関与の in vivo MRイメージング	木下 学	脳神経外科	2,730,000	日本学術振興会 補
348	大脳皮質入出力型ブレインマシンインターフェースによる上肢運動機能再建技術の開発	柳澤 琢史	脳神経外科	260,000	日本学術振興会 補
349	1分子イメージングを用いた揮発性麻酔薬による幼若脳神経細胞障害作用の分子機構解明	宮本 善一	麻酔科	910,000	日本学術振興会 補
350	ミダゾラムの樹状細胞に対する抑制作用の分子機構の解明	後藤 幸子	麻酔科	1,300,000	日本学術振興会 補
351	脳機能画像を用いた運動時痛の解明と治療法の開発	柴田 政彦	麻酔科	910,000	日本学術振興会 補
352	神経障害性疼痛に関連する情動異常の脳内発現機序と疼痛増悪機序の解明	真下 節	麻酔科	4,420,000	日本学術振興会 補
353	全身麻酔における鎮痛の役割の再評価	真下 節	麻酔科	1,430,000	日本学術振興会 補
354	ソニフィケーション(情報の可聴化技術)を用いた疼痛治療デバイスの開発	中江 文	麻酔科	3,250,000	日本学術振興会 補
355	神経因性疼痛におけるDNA修復の役割の解明	中江 文	麻酔科	2,730,000	日本学術振興会 補
356	肺紡錘織由来ストローマ細胞による急性肺傷害の治療	藤野 裕士	麻酔科	1,300,000	日本学術振興会 補
357	脳死後の心機能低下におけるサバイバル蛋白の役割	林 行雄	麻酔科	1,950,000	日本学術振興会 補
358	低酸素傷害に対する麻酔薬の神経保護—バイオイメージングによる残存神経細胞の解析	澁田 達史	麻酔科	1,430,000	日本学術振興会 補
359	卵巣癌腫瘍移植における宿主因子の作用の検討	橋本 香映	産科・婦人科	1,690,000	日本学術振興会 補

小計

15

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
360	胎盤形成異常における酸化ストレスの与える影響の解析	味村 和哉	産科・婦人科	1,690,000	日本学術振興会 補
361	胎水中マクロファージとサイトカインの発現値における役割の解明と分子標的治療の開発	磯部 晶	産科・婦人科	1,950,000	日本学術振興会 補
362	婦人科癌のプラチナ耐性獲得の機序解明とアネキシA4を標的とした新規治療法の確立	榎本 隆之	産科・婦人科	1,300,000	日本学術振興会 補
363	新しい細胞培養による婦人科癌の抗癌剤感受性試験の確立と応用	吉野 潔	産科・婦人科	2,210,000	日本学術振興会 補
364	新生児脳障害に対する臍帯血移植の実現をめざして一有効な移植法とメカニズムの解析	金川 武司	産科・婦人科	2,730,000	日本学術振興会 補
365	妊娠マウス子宮への一過性遺伝子導入システムを用いた早産治療の分子標的薬の開発	香山 晋輔	産科・婦人科	2,210,000	日本学術振興会 補
366	TRAQ法を用いた子宮肉腫の診断・治療の鍵となる蛋白質の同定	上田 豊	産科・婦人科	1,560,000	日本学術振興会 補
367	生殖医学におけるTIMPの役割ー着床障害マウスにおける不妊症と妊娠高血圧症候群ー	筒井 建紀	産科・婦人科	2,990,000	日本学術振興会 補
368	子宮内腫瘍の浸潤、転移に関わる癌遺伝子と癌幹細胞の相関解析	藤田 征巳	産科・婦人科	1,300,000	日本学術振興会 補
369	mTORC2をターゲットとした卵巣癌の分子標的治療・予防の可能性の検討	馬淵 誠士	産科・婦人科	2,210,000	日本学術振興会 補
370	新生児脳障害に特異的な病態の解明～胎児脳における甲状腺ホルモン関連分子の重要性～	富松 拓治	産科・婦人科	780,000	日本学術振興会 補
371	In vitro 胚構築モデルの作成とそれによる胎盤形成の分子機構の網羅的解析	木村 正	産科・婦人科	1,560,000	日本学術振興会 補
372	着床機能異常を検出する生理的パラメーターの創出	木村 正	産科・婦人科	4,420,000	日本学術振興会 補
373	海馬神経新生の制御による産後・周産期うつ病の治療法の確立	北島 康司	小児科	1,430,000	日本学術振興会 補
374	自閉症スペクトラム障害における聴覚処理過程に関する神経基盤研究	下野 九理子	小児科	2,210,000	日本学術振興会 補

小計

15

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
375 同種造血幹細胞移植後のWT1ペプチドワクチン療法の開発と抗腫瘍免疫動態の解析	橋井 佳子	小児科	1,560,000	日本学術振興会 補
376 肝臓における脂産期の糖・脂質代謝ダイナミズムの検討	近藤 宏樹	小児科	2,210,000	日本学術振興会 補
377 新規リン代謝調節因子FGF23/Klothoを指標にした未熟児くる病の解析	荒堀 仁美	小児科	1,300,000	日本学術振興会 補
378 核蛋白質ラミン代謝異常症に対する治療効果の検討	三善 陽子	小児科	780,000	日本学術振興会 補
379 ムコリビドーシスの病態解明と治療法の開発	酒井 規夫	小児科	650,000	日本学術振興会 補
380 cGMP恒常産生ナトリウム利尿ペプチド受容体を用いた肺高血圧治療薬開発	小垣 滋豊	小児科	2,990,000	日本学術振興会 補
381 線維芽細胞成長因子23を鍵分子とする代謝性骨疾患の診断・病態解析	大園 恵一	小児科	780,000	日本学術振興会 補
382 多面的なアプローチによる小児睡眠評価法の開発	谷池 雅子	小児科	650,000	日本学術振興会 補
383 探索医療に基づく甲状腺ホルモンランスポーターの細胞特異的機能の解明	難波 範行	小児科	1,300,000	日本学術振興会 補
384 脱髄疾患におけるオリゴデンドロサイト分化に関わるエピジェネティクス機構解明	毛利 育子	小児科	1,300,000	日本学術振興会 補
385 CCR5/CXCR3阻害による急性および慢性腎拒絶反応の制御	奥見 雅由	泌尿器科	1,560,000	日本学術振興会 補
386 近赤外分光法を用いた男性不妊症診断法の開発	宮川 康	泌尿器科	1,690,000	日本学術振興会 補
387 腎虚の腫瘍血管における骨髄由来細胞の役割の検討	中井 康友	泌尿器科	1,300,000	日本学術振興会 補
388 5α還元酵素阻害剤およびPDE5阻害剤がおよぼす前立腺組織への直接作用	辻村 晃	泌尿器科	3,900,000	日本学術振興会 補
389 前立腺発癌過程における慢性炎症の影響と自然免疫細胞の役割に関する研究	野々村 祝夫	泌尿器科	1,430,000	日本学術振興会 補

小計

15

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
390	シクロスボリン腎症に対するカルバミル化エリスロポイエチンの腎保護効果の研究	矢澤 浩治	泌尿器科	1,300,000	日本学術振興会
391	治療抵抗性肝腫瘍の化学療法における薬剤溶出性高吸水性ポリマーの開発	前田 登	放射線診断科	910,000	日本学術振興会
392	球状ビーズの血管内動態と最適化に関する検討:血管造影術のパラダイムシフトに向けて	大須賀 慶悟	放射線診断科	2,210,000	日本学術振興会
393	核磁気共鳴画像による肝細胞膜タンパク発現の生体イメージングに関する基礎的検討	大西 裕満	放射線診断科	650,000	日本学術振興会
394	統計アトラスに基づく体幹部のコンピュータ支援診断	堀 雅敏	放射線診断科	1,430,000	日本学術振興会
395	中咽頭癌の放射線治療効果予測における転移状態に関連する遺伝子群の意義	小川 和彦	放射線治療科	1,170,000	日本学術振興会
396	新しい前立腺癌リスク分類による治療戦略最適化の試み	吉岡 靖生	放射線治療科	780,000	日本学術振興会
397	リアルタイム体内線量測定に基づく高線量率組織内照射の高精度化	小西 浩司	放射線治療科	3,640,000	日本学術振興会
398	一体型PET-MRI装置による脳虚血時の脳循環代謝研究	下瀬川 恵久	核医学診療科	650,000	日本学術振興会
399	難治性てんかんの発作焦点検出のための画像診断法の開発	加藤 弘樹	核医学診療科	2,860,000	日本学術振興会
400	悪性リンパ腫の代謝特性に基づいたPET画像診断法の開発	磯橋 佳也子	核医学診療科	3,250,000	日本学術振興会
401	各種腫瘍における腫瘍幹細胞動態を制御する因子に関する解析	森井 英一	病理部	1,950,000	日本学術振興会
402	腫瘍幹細胞を規定する因子に基づく悪性リンパ腫の解析	池田 純一郎	病理部	2,210,000	日本学術振興会
403	Sema4AIにおける点突然変異と網膜色素変性症	野島 聡	病理部	1,430,000	日本学術振興会
404	悪性リンパ腫内に浸潤するマクロファージでの特性と予後についての検討	和田 直樹	病理部	2,080,000	日本学術振興会

小計

15

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
405	HCV感染症におけるトリプトファン代謝酵素による免疫トランス誘導機構の解明	笠原 彰紀	総合診療部	1,170,000	日本学術振興会 補
406	酵素代謝をターゲットにした新規心不全治療薬の開発	武田 理宏	医療情報部	2,210,000	日本学術振興会 補
407	初期診断の支援システムのための知識収集および処理方法に関する研究	松村 泰志	医療情報部	1,040,000	日本学術振興会 補
408	侵襲時再生治療に関する研究:血管内細胞移植の確立	小倉 裕司	高度救命救急センター	13,650,000	日本学術振興会 補
409	熱中症に対する新たな臓器障害戦略:骨髄間質細胞移植の有効性	小倉 裕司	高度救命救急センター	1,040,000	日本学術振興会 補
410	軸索再生効果の高い嗅神経細胞の誘導と移植用三次元デバイスの開発	森脇 崇	未来医療センター	1,560,000	日本学術振興会 補
411	術後補助化学療法におけるフッ化ピリミジン系薬剤の有用性に関する比較臨床試験(治癒切除直腸癌に対するUFT療法とTS-1療法との比較検討)	池田 正孝	消化器外科	13,650	(財)がん集学的治療研究財団 委
412	頸動脈ステント留置術後の再狭窄に対するシロスタゾールの効果に関する多施設共同無作為比較試験(CAS-CARE)	渡邊 嘉之	放射線診断科	1,387,750	(財)先端医療振興財団 委
413	心不全発症予防を目指した新規サイトカイン療法の確立	中岡 良和	循環器内科	1,300,000	(財)千里ライフサイエンス振興財団 委
414	生体侵襲軽微な人工的ヒトインターフェロンの開発	金倉 謙	血液・腫瘍内科	12,000,000	(財)千里ライフサイエンス振興財団 委
415	乳癌におけるタキサン系およびアンラサイクリン系抗癌剤耐性遺伝子の同定と耐性の克服に関する研究	野口 真三郎	乳腺・内分泌外科	27,000,000	(財)千里ライフサイエンス振興財団 委
416	骨髄由来間葉系幹細胞動員因子による非線形性機能的組織再生誘導薬開発のための基盤研究	玉井 克人	皮膚科	30,000,000	(財)千里ライフサイエンス振興財団 委
417	脂質異常ハイリスク例における経口糖尿病薬の脂血管イベント二次予防効果の検討(略称:PROFIT-J研究)	金藤 秀明	内分泌・代謝内科	619,500	(財)循環器病研究振興財団 委
418	免疫、腫瘍性疾患に対する抗IL-8受容体抗体による新規治療法の研究・開発	中岡 良和	循環器内科	10,000,000	(独)医薬基盤研究所 委
419	症例選択基準の選定・最適化にむけたデータ評価に関する研究	山下 静也	循環器内科	10,000,000	(独)医薬基盤研究所 委

小計

15

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
420	免疫、腫瘍性疾患に対する抗IL-10受容体抗体による新規治療法の研究・開発	立花 功	呼吸器内科	12,000,000	(独)医薬基盤研究所 委
421	免疫、腫瘍性疾患に対する抗IL-9受容体抗体による新規治療法の研究・開発	田中 敏郎	免疫・アレルギー内科	23,000,000	(独)医薬基盤研究所 委
422	免疫、腫瘍性疾患に対する抗IL-6受容体抗体による新規治療法の研究・開発	瓶井 資弘	眼科	13,000,000	(独)医薬基盤研究所 委
423	他家角膜上皮細胞より作製した細胞株を用いた角膜上皮細胞再生治療法の開発	西田 幸二	眼科	40,000,000	(独)医薬基盤研究所 委
424	免疫、腫瘍性疾患に対する抗IL-11受容体抗体による新規治療法の研究・開発	吉川 秀樹	整形外科	13,000,000	(独)医薬基盤研究所 委
425	改良型AG-30 (AE289)の前臨床研究および臨床研究	玉井 克人	皮膚科	39,000,000	(独)医薬基盤研究所 委
426	免疫、腫瘍性疾患に対する抗IL-7受容体抗体による新規治療法の研究・開発	室田 浩之	皮膚科	13,000,000	(独)医薬基盤研究所 委
427	手術前の疼痛に寄与する因子および手術手技の開発に関する研究	竹政 伊知朗	消化器外科	800,000	(独)国立がん研究センター 委
428	経血管的治療IVR	大須賀 慶悟	放射線診断科	1,000,000	(独)国立がん研究センター 委
429	呼吸器悪性腫瘍における画像抽出方法の考案や最適化に関する研究	富山 憲幸	放射線診断科	700,000	(独)国立がん研究センター 委
430	がんの患者の補完代替医療に関する臨床試験	伊藤 壽記	消化器外科	800,000	(独)国立病院機構四国がんセンター 委
431	広面角眼底カメラを用いた未熟児の眼底検査と遠隔診断システムの開発(関西地区)	不二門 尚	眼科	1,500,000	(独)国立成育医療研究センター 委
432	小児科女性医師の育児・復帰支援に関する研究	三善陽子	小児科	1,500,000	(独)国立成育医療研究センター 委
433	小児血液腫瘍マーカー中央診断の臨床的有用性に関する研究	橋井 佳子	小児科	1,000,000	(独)国立成育医療研究センター 委
434	循環器内科学分野に関する学術研究動向調査研究	小室 一成	循環器内科	1,870,000	(独)日本学術振興会 委

小計

15

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
435	医歯薬学に関する学術研究動向調査研究及び科研究分科細目の改正に係るフォローアップ	金倉 謙	血液・腫瘍内科	6,600,000	(独)日本学術振興会 委
436	遺伝子・細胞・組織工学の国際的技術を集結させた心筋組織の構築と心不全治療への応用	澤 芳樹	心臓血管外科	28,648,400	(独)日本学術振興会 委
437	老化関連疾患における慢性炎症の病態生理学的意義の解明	小室 一成	循環器内科	31,200,000	(独)科学技術振興機構 委
438	循環器疾患の克服をめざした革新的な薬物送達基盤技術の開発	南野 哲男	循環器内科	3,000,000	(独)科学技術振興機構 委
439	ナノ粒子-癌抗原ペプチドを用いた肝癌・消化器癌免疫治療法の開発	巽 智秀	消化器内科	14,560,000	(独)科学技術振興機構 委
440	糖負荷後の血中ペクター・アミロイド変動パターンを用いたアルツハイマー病の診断法の開発	里 直行	老年・高血圧内科	1,700,000	(独)科学技術振興機構 委
441	ヒト由来の培養促進添加物の開発	澤 芳樹	心臓血管外科	4,800,000	(独)科学技術振興機構 委
442	再生医療における新しい細胞マトリックス作成技術の開発	澤 芳樹	心臓血管外科	1,493,850	(独)科学技術振興機構 委
443	誘導教育前駆細胞の組織形成能および腫瘍形成能の解析	吉川 秀樹	整形外科	2,600,000	(独)科学技術振興機構 委
444	新規脳梗塞治療薬を目指した機能的組織再生促進医薬の開発	玉井 克人	皮膚科	11,700,000	(独)科学技術振興機構 委
445	ヒトでの脳障害後の皮質神経回路の可塑性制御機構の解明	望月 秀樹	神経内科・脳卒中科	8,794,500	(独)科学技術振興機構 委
446	統合失調症発症脆弱性因子Dysbindinの機能解析	橋本 亮太	神経科・精神科	3,900,000	(独)科学技術振興機構 委
447	染色体異常症候群における合併症の発症メカニズムの解明	北畠 康司	小児科	19,500,000	(独)科学技術振興機構 委
448	Aβ42切断の分子機構解明	大河内 正康	神経科・精神科	4,000,000	(独)国立長寿医療研究センター 委
449	タウ蛋白の病態に関連する機軸薬開発	田中 稔久	神経科・精神科	3,000,000	(独)国立長寿医療研究センター 委

小計

15

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
発達障がい児(者)の研究	谷池 雅子	小児科	2,500,000	池田市
緊急雇用創出基金事業(重点分野雇用創出事業)産学共同利用施設運営支援業務	高島 成二	循環器内科	5,838,464	大阪府
成23年度自殺未遂者実態調査事業	嶋津 岳士	高度救命救急センター	1,817,865	大阪府
大阪府受入困難患者受入医療機関支援事業費補助金			146,000	大阪府
大阪府新人看護職員研修事業補助金			1,820,000	大阪府
次世代超低侵襲内視鏡治療の実現へ向けた高性能医療機器の開発	中島 清一	消化器外科	18,267,900	近畿経済産業局
プラスチック成形加工技術の高度化による安全、高機能な次世代内視鏡治療関連医療機器の研究開発	中島 清一	消化器外科	18,863,250	近畿経済産業局
不妊治療効率向上を目的とした低侵襲子宮着床能判定装置の開発	木村 正	産科・婦人科	54,673,489	経済産業省
不妊治療効率向上を目的とした低侵襲子宮着床能判定装置の開発	木村 正	産科・婦人科	12,920,013	経済産業省
前立腺がんに対するHDR組織内照射の臨床試験の研究	吉岡 靖生	放射線治療科	600,000	公益財団法人がん研究会
発達障害児(者)支援事業	谷池 雅子	小児科	8,746,000	堺市
基礎研究から臨床研究への橋渡し促進技術開発/橋渡し促進技術開発/細胞シートによる多施設臨床研究を目指した基盤システムの構築	小室 一成	循環器内科	6,624,000	新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
基礎研究から臨床研究への橋渡し促進技術開発/橋渡し促進技術開発/細胞シートによる多施設臨床研究を目指した基盤システムの構築	小室 一成	循環器内科	576,000	新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
基礎研究から臨床研究への橋渡し促進技術開発/橋渡し促進技術開発/細胞シートによる多施設臨床研究を目指した基盤システムの構築	澤 芳樹	心臓血管外科	11,845,000	新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
基礎研究から臨床研究への橋渡し促進技術開発/橋渡し促進技術開発/細胞シートによる多施設臨床研究を目指した基盤システムの構築	澤 芳樹	心臓血管外科	1,030,000	新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)

小計

15

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
465	基礎研究から臨床研究への橋渡し促進技術開発/橋渡し促進技術開発/細胞シートによる多施設臨床研究を目指した基盤システムの構築	西田 幸二	眼科	32,200,000	新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) 委
466	基礎研究から臨床研究への橋渡し促進技術開発/橋渡し促進技術開発/細胞シートによる多施設臨床研究を目指した基盤システムの構築	西田 幸二	眼科	2,800,000	新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) 委
467	環境・医療分野の国際研究開発・実証プロジェクト/先進的医療機器システムの国際研究開発及び実証/再生・細胞医療技術および製造・インフラ最適化の研究開発	西田 幸二	眼科	46,549,000	新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) 委
468	基礎医学研究者育成プログラム	奥村 明之進	呼吸器外科	29,641,000	東京大学 委
469	(基盤C-22-24,北村 温美)腎虚血再循環障害におけるオートファジーの役割について	北村 温美	腎臓内科	1,170,000	独立行政法人日本学術振興会 補
470	(基盤C)血球形成のポジティブおよびネガティブ制御機構の解析	富山 佳昭	血液・腫瘍内科	1,430,000	独立行政法人日本学術振興会 補
471	(基盤C-23-25,齊藤 則充)AnamorsinとPicotの結合阻害を標的とした新規抗腫瘍剤の開発	齊藤 則充	血液・腫瘍内科	2,210,000	独立行政法人日本学術振興会 補
472	(若手B-23-24,山本 陵平)IgA腎症の腎病理組織学予後予測因子の同定	山本 陵平	老年・高血圧内科	4,290,000	独立行政法人日本学術振興会 補
473	(若手B-23-24,宮崎 安弘)病的肥満症・単純性肥満の原因解明:胃グレリン細胞と食欲・体重増加との関係	宮崎 安弘	消化器外科	1,950,000	独立行政法人日本学術振興会 補
474	(若手B)消化管定圧送気時の腸管圧較差についての研究	宮崎 安晃	消化器外科	2,210,000	独立行政法人日本学術振興会 補
475	(若手B)食道癌化学療法における癌幹細胞を標的とした新規バイオマーカーの探索	原 謙次	消化器外科	1,300,000	独立行政法人日本学術振興会 補
476	(若手B)IPS化ADSCを用いた微小環境の再生・再構築による次世代型尿島移植法の研究開発	大村 仁昭	消化器外科	1,300,000	独立行政法人日本学術振興会 補
477	(若手B-23-24,谷田 司)microRNAによるIPS化ADSCを用いた肝組織の再設計・構築と肝不全治療	谷田 司	消化器外科	1,430,000	独立行政法人日本学術振興会 補
478	(若手B)肝癌幹細胞を標的とした根治的療法の開発	畠野 尚典	消化器外科	1,820,000	独立行政法人日本学術振興会 補
479	(若手B)消化器癌の抗薬剤耐性を制御するmicroRNAの同定と機能解析	友園 晃	消化器外科	780,000	独立行政法人日本学術振興会 補

小計

15

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
480	(基盤C.22-24.和田 謙)膵癌における内分泌系転写因子の発現意義と癌幹細胞との関係	和田 浩志	消化器外科	1,430,000	独立行政法人日本学術振興会 補
481	(若手B.22-24.野村 元成)小児悪性腫瘍に対するヘッジホグシグナル系阻害剤を用いた分子標的治療に関する研究	野村 元成	小児外科	910,000	独立行政法人日本学術振興会 補
482	(基盤C.23-25.橋田 徳康)標的指向性・光感受性リボソームの薬物動態解析	橋田 徳康	眼科	1,820,000	独立行政法人日本学術振興会 補
483	(若手B.23-25.相馬 剛至)フェムトセカンドレーザーを用いた無縫合角膜移植術の開発	相馬 剛至	眼科	1,820,000	独立行政法人日本学術振興会 補
484	(若手B.23-25.大家 義則)生体共焦点顕微鏡を用いた角膜細胞の観察による角膜上皮幹細胞ニッチに関する研究	大家 義則	眼科	780,000	独立行政法人日本学術振興会 補
485	(基盤C.22-24.坂井 孝司)股関節の生体内動態解析評価システムの開発	坂井 孝司	整形外科	520,000	独立行政法人日本学術振興会 補
486	(若手B.23-24.金澤 成行)Rho/Rho kinaseの創傷治癒における役割の解明	金澤 成行	形成外科	1,690,000	独立行政法人日本学術振興会 補
487	(若手B.22-24.谷川 知子)双方向の再生軸索を含む新しい神経移植法に関する研究	谷川 知子	形成外科	1,170,000	独立行政法人日本学術振興会 補
488	(若手B)P75遺伝子の神経再生における役割と治療への応用	波多 祐紀	形成外科	1,170,000	独立行政法人日本学術振興会 補
489	(若手B.23-25.峯岸 芳樹)長幹骨の内軟骨性骨化におけるレチノイン酸の機能解明	峯岸 芳樹	形成外科	1,820,000	独立行政法人日本学術振興会 補
490	(挑戦前芽.23-25.森脇 崇)軸索再生効果の高い嗅神経細胞の誘導と移植用三次元デバイスの開発	森脇 崇	脳神経外科	1,560,000	独立行政法人日本学術振興会 補
491	(若手B.23-24.園尾 知之)パーキンソン病に対する脳深部刺激療法が感覚認知に与える影響の解明	園尾 知之	脳神経外科	2,990,000	独立行政法人日本学術振興会 補
492	(若手B.23-24.中村 仁美)不妊治療の分子標的治療をめざしたSTAT3活性化のための標的分子候補の探索	中村 仁美	産科・婦人科	2,860,000	独立行政法人日本学術振興会 補
493	(若手B.23-24.松村 梨紗)小児橋本甲状腺炎に対するWT1ワクチン療法の開発と抗腫瘍免疫動態の解析	松村 梨紗	小児科	2,600,000	独立行政法人日本学術振興会 補
494	(研究活動スタート支援)精巣腫瘍高転移細胞株に高発現する分泌蛋白SERPINE2の抗体作製及び機能解析	永原 啓	泌尿器科	1,469,000	独立行政法人日本学術振興会 補

小計

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
495	(若手B_23-25_東原 大樹)高分子多環類を用いた新たな薬物物質の開発と薬利消出能の検討	東原 大樹	放射線診断科	1,690,000	独立行政法人日本学術振興会 補
496	(若手B_23-24_梁川 雅弘)肺腺癌の集学的診断法確立のための3次元画像解析法とそのソフトウェアの開発	梁川 雅弘	放射線診断科	1,690,000	独立行政法人日本学術振興会 補
497	(基盤C_23-25_瀬尾 雄二)放射線生存曲線パラメータを規定する分子生物学的因子の包括的スクリーニング	瀬尾 雄二	放射線治療科	3,510,000	独立行政法人日本学術振興会 補
498	(基盤C_22-24_巽 光朗)新世代PETIにおける腫瘍内集積不均一と生物学的要因・治療効果との関連に関する研究	巽 光朗	核医学診療科	1,040,000	独立行政法人日本学術振興会 補
499	(基盤C_22-24_南 正人)ミトコンドリア傷害の抑制による肺虚血再灌流障害制御の試みと新たな薬器保存液の開発	南 正人	手術部	910,000	独立行政法人日本学術振興会 補
500	(基盤C分担_南)胸腺上皮性腫瘍のT細胞分化におけるオートファジーの役割の解析	南 正人	手術部	78,000	独立行政法人日本学術振興会 補
501	(若手B_23-24_上口 貴志)次世代のMRI撮像法に対応した造影剤ノイズ比評価法の開発	上口 貴志	放射線部	2,860,000	独立行政法人日本学術振興会 補
502	(研スタB_23-24_熊澤 恵一)妊婦高血圧症候群の予知因子探索と病態解明	熊澤 恵一	総合周産期母子医療センター	1,560,000	独立行政法人日本学術振興会 補
503	(基盤B分担_澤田)新たな視点での胆管がん薬剤耐性化の解明:メタボロミクス応用とオートファジー解析	澤田 健二郎	総合周産期母子医療センター	1,300,000	独立行政法人日本学術振興会 補
504	(基盤C_23-25_澤田 健二郎)癌周辺微小環境を忠実に再現した新しい膜様選択栄養系の開発とその可能性の検討	澤田 健二郎	総合周産期母子医療センター	2,210,000	独立行政法人日本学術振興会 補
505	(基盤C_22-24_大田 典之)敗血症によって惹起される細胞性免疫能の抑制状態の解析と治療	大田 典之	集中治療部	1,300,000	独立行政法人日本学術振興会 補
506	(基盤C_23-25_内山 昭則)呼吸相での換気補助が可能な人工呼吸法の開発	内山 昭則	集中治療部	3,250,000	独立行政法人日本学術振興会 補
507	(基盤C_23-25_萩平 哲)疼痛の慢性化における注意機能のかかわり	萩平 哲	集中治療部	910,000	独立行政法人日本学術振興会 補
508	(基盤C_23-25_三宅 潤一)骨折変形治療に対する3次元評価システムの確立	三宅 潤一	リハビリテーション部	1,820,000	独立行政法人日本学術振興会 補
509	(基盤C_22-24_木村 佳記)可変ブレーキを用いた下肢荷重トレーニング機器の開発	木村 佳記	リハビリテーション部	780,000	独立行政法人日本学術振興会 補

小計

15

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
510 (基盤B_22-25_松本 直也)敗血症・多臓器不全における内在性幹細胞機能障害の解析と細胞移植再生治療の開発	松本 直也	高度救命救急センター	4,550,000	独立行政法人日本学術振興会 補
511 (抗戦的萌芽院内における突然の心停止を予防する方策の検討)	入澤 太郎	高度救命救急センター	1,040,000	独立行政法人日本学術振興会 補
512 (基盤C_23-25_関 雅文)重症インフルエンザ肺炎における過剰免疫反応(サイトカインストーム)調節の可能性	関 雅文	感染制御部	1,560,000	独立行政法人日本学術振興会 補
513 (若手B_23-25_高橋 りょう子)小児患者における鎮静に伴う有害事象の低減を目的とするガイドラインの開発	高橋 りょう子	中央クオリティマネジメント部	780,000	独立行政法人日本学術振興会 補
514 (基盤B)侵襲的経管栄養患者に関するリスク評価及び病態解析	清水 健太郎	中央クオリティマネジメント部	1,040,000	独立行政法人日本学術振興会 補
515 (基盤B_23-25_中島 和江)シリアスゲームを取り入れた卒前医療安全教育の教材開発	中島 和江	中央クオリティマネジメント部	7,150,000	独立行政法人日本学術振興会 補
516 (基盤C_23-25_真野 敏昭)心不全における心腎連関のメカニズム-機能的予備力評価からのアプローチ-	真野 敏昭	卒後教育開発センター	3,510,000	独立行政法人日本学術振興会 補
517 (抗戦萌芽_23-24_黒田 淳子)脳血管4D-CTA新規解析法の開発と脳血管/脳動脈瘤弾性度の画像化	黒田 淳子	脳卒中センター	2,340,000	独立行政法人日本学術振興会 補
518 (基盤C)脳虚血急性期におけるグルタミン酸受容体サブタイプによる細胞応答の差異	佐々木 勉	脳卒中センター	910,000	独立行政法人日本学術振興会 補
519 (基盤C_22-24_水木 満佐)腫瘍原性チロシナーゼ依存性細胞増殖機構の解析	水木 満佐央	化学療法部	1,690,000	独立行政法人日本学術振興会 補
520 (若手B_23-24_斎藤 俊輔)心臓移植後の拒絶反応への抗戦-細胞シート移植を応用した新しい免疫抑制療法の開発-	斎藤 俊輔	ハートセンター	3,250,000	独立行政法人日本学術振興会 補
521 (研究活動スタート支援)難治性神経障害に対する新規治療ターゲットに関する研究	岡田 潔	未来医療センター	1,469,000	独立行政法人日本学術振興会 補
522 (基盤C)造血幹細胞の増殖・分化におけるエネルギー代謝制御	江副 幸子	未来医療センター	910,000	独立行政法人日本学術振興会 補
523 (基盤B分担_松山)IPS細胞を応用した自己心筋組織による不全心に対する新しい再生療法の開発	松山 晃文	未来医療センター	195,000	独立行政法人日本学術振興会 補
524 (若手B_23-24_大西 諭一)自己組織由来神経幹細胞からの神経細胞分化誘導法の開発	大西 諭一郎	未来医療センター	1,170,000	独立行政法人日本学術振興会 補

小計

15

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
525	(基盤B.23-25.名井 陽)大型骨欠損に対する次世代骨再生技術の開発	名井 陽	未来医療センター	5,980,000	独立行政法人日本学術振興会 補
526	(若手A)細胞移植を模倣した新規心筋再生因子キャリアによる心筋再生治療の確立	齋藤 充弘	未来医療センター	8,710,000	独立行政法人日本学術振興会 補
527	(抗がん剤の芽(分担).23-25.齋藤)アポトーシス細胞を模倣した抗炎症スマート粒子の設計と新たな急性疾患治療法の開発	齋藤 充弘	未来医療センター	65,000	独立行政法人日本学術振興会 補
528	(若手B.23-24.鎌倉 武史)前庭神経系におけるTRPV1受容体の機能解析	鎌倉 武史	耳鼻咽喉科	2,210,000	独立行政法人日本学術振興会 補
29	基礎研究から臨床研究への橋渡し促進技術開発/橋渡し促進技術開発/細胞シートによる多施設臨床研究を旨とした基盤システムの構築	澤 芳樹	未来医療センター	92,616,400	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 委
530	WT1ペプチドを用いた癌免疫治療法の構築とその改良に関する研究	岡 芳弘	免疫・アレルギー・内科	1,200,000	北海道公立大学法人札幌医科大学 委
531	定圧高速自動送気内視鏡の実現に向けたオーバーチュールシステムの開発・改良	中島 清一	消化器外科	22,168,552	経済産業省 委
532	ヒト分離島提供ネットワーク構築のための動物実験実施業務	伊藤 壽記	消化器外科	2,500,000	公立大学法人福島県立医科大学 委
533	次世代機能代替技術の研究開発/次世代再生医療技術の研究開発/生体内で自己組織の再生を促すセルフリペア型再生デバイスの開発(幹細胞ニッチ制御による自己組織再生型心血管デバイスの基盤開発)	小室 一成	循環器内科	17,250,000	新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) 委
534	次世代機能代替技術の研究開発/次世代再生医療技術の研究開発/生体内で自己組織の再生を促すセルフリペア型再生デバイスの開発(幹細胞ニッチ制御による自己組織再生型心血管デバイスの基盤開発)	小室 一成	循環器内科	1,500,000	新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) 委
535	次世代機能代替技術の研究開発/次世代再生医療技術の研究開発/生体内で自己組織の再生を促すセルフリペア型再生デバイスの開発(幹細胞ニッチ制御による自己組織再生型心血管デバイスの基盤開発)	澤 芳樹	心臓血管外科	80,827,750	新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) 委
536	次世代機能代替技術の研究開発/次世代再生医療技術の研究開発/生体内で自己組織の再生を促すセルフリペア型再生デバイスの開発(幹細胞ニッチ制御による自己組織再生型心血管デバイスの基盤開発)	澤 芳樹	心臓血管外科	3,028,500	新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) 委
537	三重らせん形成を駆動力とするコラーゲン選択的な生体適合性架橋剤とエキシマレーザー技術の融合による革新的角膜治療技術の開発	西田 幸二	眼科	14,300,000	新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) 補
538	次世代機能代替技術の研究開発/次世代再生医療技術の研究開発/少量の細胞により生体内で自己組織の再生を促す自律成熟型再生デバイスの開発(生体内で自律的に成熟する臓器再生デバイスのための基礎研究開発)	吉川 秀樹	整形外科	5,439,000	新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) 委
539	大阪・兵庫地区の悪性リンパ腫の診断的研究のための免疫染色、in situ hybridization、clonality analysisの施行	青笹 克之	病理部	7,623,265	大阪リンパ腫研究会 委

小計

15

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元		
540	脊髄損傷患者に対するリハビリテーションを併用した神経再生法の開発	岩月 幸一	脳神経外科	11,880,000	筑波大学	委
541	核酸含有PLGAナノ粒子技術を用いた経口DDS製剤の研究開発	森下 竜一	老年・高血圧内科	17,000,550	特定非営利活動法人近畿バイオインダストリー振興会議	委
542	感染問題解決のための橋渡し医療機器の開発・改良	森下 竜一	老年・高血圧内科	9,281,580	特定非営利活動法人近畿バイオインダストリー振興会議	委
543	染色体異常症候群における合併症の発症メカニズムの解明	北島 康司	総合周産期母子医療センター	908,594	独立行政法人科学技術振興機構	委
544	効率のよい不妊治療のための、子宮の着床能を非侵襲的にかつ前方視的に診断する医療機器の開発	中村 仁美	生殖医療センター	1,898,000	独立行政法人科学技術振興機構	委
545	急性心筋梗塞に対する治療の現状とその効果の実証調査 (分担課題名: データベース入力項目の立案)	小室 一成	循環器内科	1,000,000	独立行政法人国立循環器病センター	委
546	血栓形成における血小板インテグリンの機能発現機構の解析	富山 佳昭	輸血部	1,500,000	独立行政法人国立循環器病センター	委
547	農林水産物・食品の機能性等を解析・評価するための基盤技術の開発(ニンニク類に着目したリンゴ・茶の生体調節機能の医学的検証と高含有品種育成など活用に関する研究開発)	森下 竜一	老年・高血圧内科	2,648,000	農林水産技術会議事務局	委
548	農林水産物・食品の機能性等を解析・評価するための基盤技術の開発(ニンニク類に着目したリンゴ・茶の生体調節機能の医学的検証と高含有品種育成など活用に関する研究開発)(一般管理費)	森下 竜一	老年・高血圧内科	352,000	農林水産技術会議事務局	委
					小計	
					計	

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

	発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
1	Naito A et al.	Complement c1q activates canonical wnt signaling and promotes aging-related phenotypes.	Cell.2012;149(6):1298-313	循環器内科
2	Oka T et al.	Mitochondrial DNA that escapes from autophagy causes inflammation and heart failure.	Nature.2012 485(7397):251-5	循環器内科
3	Shioyama W et al.	Docking protein Gab1 is an essential component of postnatal angiogenesis after ischemia via HGF/c-met signaling.	Circ Res.2011;108(6):664-675.	循環器内科
4	Fu et al.	Ablation of C/EBP homologous protein attenuates endoplasmic reticulum-mediated apoptosis and cardiac dysfunction induced by pressure overload.	Circulation.2010;122(4):361-9.	循環器内科
5	Higo S et al.	Isoform-specific intermolecular disulfide bond formation of heterochromatin protein 1 (HP1).	J Biol Chem2010;285(41):31337-47	循環器内科
6	坂口 悠介	High prevalence of obstructive sleep apnea and its association with renal function among nondialysis chronic kidney disease patients in Japan: a cross-sectional study.	Clinical Journal of the American Society of Nephrology ;6,May	腎臓内科
7	岩谷 博次	Microarray analysis of tonsils of IgA.nephropathy patients.	Advances in Oto-rhino-laryngology ;72,Aug	腎臓内科
8	木村 友則	Autophagy protects the proximal tubule from degeneration and acute ischemic injury.	Journal of the American Society of Nephrology; 22, May	腎臓内科
9	高畠 義嗣	A superagonistic monoclonal antibody for CD28 ameliorates crescentic glomerulonephritis in wistar-kyoto rats.	Molecular Medicine; 17,Apr	腎臓内科
10	木村 友則	Effects of chronic kidney disease and post-angiographic acute kidney injury on long-term prognosis after coronary artery angiography.	Nephrology Dialysis Transplantation; 26,Jun	腎臓内科
11	濱野 高行	Guideline-practice gap in the management of predialysis chronic kidney disease mineral bone disorder in Japan.	Therapeutic Apheresis and Dialysis; 15(1),Jun	腎臓内科
12	猪阪 善隆	The protective role of autophagy against tagging and acute ischemic injury in kidney proximal tubular cells.	Autophagy; 7,Sep	腎臓内科
13	山本 毅士	A case of MPO-ANCA-positive polyarteritis nodosa complicated by exudative otitis media, mononeuritis multiplex, and acute renal failure.	Clinical and Experimental Nephrology; 15(5), Oct	腎臓内科
14	Oze T, et al.	Indications and limitations for aged patients with chronic hepatitis C in pegylated interferon alfa-2b plus ribavirin combination therapy	J Hepatol 2011年4月54巻	消化器内科
15	Kodama T, et al.	Increases in p53 expression induce CTGF synthesis by mouse and human hepatocytes and result in liver fibrosis in mice	J Clin Invest 2011年8月121巻	消化器内科

小計

16	Kato M, et al.	Association of low serum adiponectin levels with erosive esophagitis in men: an analysis of 2405 subjects undergoing physical check-ups.	J Gastroenterol 2011年8月46巻	消化器内科
17	Oze T, et al.	The efficacy of extended treatment with pegylated interferon plus ribavirin in patients with HCV genotype 1 and slow virologic response in Japan	J Gastroenterol 2011年7月46巻	消化器内科
18	Hiramatsu N, et al.	Efficacy of pegylated interferon plus ribavirin combination therapy for hepatitis C patients with normal ALT levels; a matched case-control study	J Gastroenterol 2011年11月46巻	消化器内科
19	Oze T, et al.	Efficacy of re-treatment with pegylated interferon plus ribavirin combination therapy for patients with chronic hepatitis C in Japan	J Gastroenterol 2011年8月46巻	消化器内科
20	Yamamoto M, et al.	$\alpha$ -fetoprotein impairs activation of NK cells by inhibiting the function of dendritic cells	Clin Exp Immunol 2011年8月165巻	消化器内科
21	Miyagi T, et al.	Differential alteration of CD56bright and CD56dim natural killer cells in frequency, phenotype and cytokine response in chronic hepatitis C virus infection	J Gastroenterol 2011年8月46巻	消化器内科
22	Takahara, M., Kaneto, H., Katakami, N., Matsuhisa, M., and Shimomura, I.	Effect of metformin on hepatic glucose production in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus.	Endocr. J. (in press)	内分泌・代謝内科
23	Katakami, N., Takahara, M., Kaneto, H., Sakamoto, K., Yoshiuchi, K., Irie, Y., Kubo, F., Katsura, T., Yamasaki, Y.	Ultrasonic tissue characterization of carotid plaque improves the prediction of cardiovascular events in diabetic patients: a pilot study.	Diabetes Care (in press)	内分泌・代謝内科
24	Takahara, M., Kaneto, H., Katakami, N., Matsuoka, T., Matsuhisa, M., and Shimomura, I.	Impaired suppression of endogenous glucose production in lean Japanese patients with type 2 diabetes.	Diabetes Res. Clin. Pract. 93, e1-2, 2011	内分泌・代謝内科
25	Kashine S, Kishida K, Funahashi T, Yasuda T, Okita K, Matsuzawa Y, Shimomura I.	Selective Contribution of Waist Circumference Reduction on the Improvement of Sleep-disordered Breathing in Patients Hospitalized with Type 2 Diabetes Mellitus.	Intern Med. 2011;50(18):1895-903.	内分泌・代謝内科
26	Kishida K, Funahashi T, Shimomura I.	Clinical significance of visceral fat reduction through health education in preventing atherosclerotic cardiovascular disease - Lesson from the Amagasaki Visceral Fat Study: A Japanese perspective.	Nutr Metab (Lond). 2011 Aug 16;8:57	内分泌・代謝内科
27	Kashine S, Kishida K, Funahashi T, Shimomura I	Characteristics of sleep-disordered breathing in Japanese patients with acromegaly.	Endocr J. 2012;59(1):31-8	内分泌・代謝内科
28	Inoue K, Kozawa J, Funahashi T, Nakata Y, Mitsui E, Kitamura T, Maeda N, Kishida K, Otsuki M, Okita K.	Right-sided acute suppurative thyroiditis caused by infectious endocarditis.	Intern Med. 50:2893-7, 2011	内分泌・代謝内科
29	Inoue K, Maeda N, Kashine S, Fujishima Y, Kozawa J, Hiuge-Shimizu A, Okita K, Imagawa A, Funahashi T, Shimomura I	Short-term effects of liraglutide on visceral fat adiposity, appetite, and food preference: a pilot study of obese Japanese patients with type 2 diabetes.	Cardiovasc Diabetol. 10:109, 2011	内分泌・代謝内科
30	Hirata A, Kishida K, Hiuge-Shimizu A, Nakatsuji H, Funahashi T, Shimomura I.	Qualitative score of systemic arteriosclerosis by vascular ultrasonography as a predictor of coronary artery disease in type 2 diabetes.	Atherosclerosis. 219(2):623-9, 2011	内分泌・代謝内科
31	Nakatsuji H, Kishida K, Funahashi T, Shimomura I	The Senri Study II Group. Three-month treatment with pioglitazone reduces circulating levels of S100A8/A9 (MRP8/14) complex, a biomarker of inflammation, without changes in body mass index, in type 2 diabetics with abdominal obesity.	Diabetes Res Clin Pract. 95(3): e58-e60 2012	内分泌・代謝内科
32	Hirata A, Maeda N, Nakatsuji H, Hiuge-Shimizu A, Okada T, Funahashi T, Shimomura I.	Contribution of glucocorticoid-mineralocorticoid receptor pathway on the obesity-related adipocyte dysfunction.	Biochem Biophys Res Commun. 419(2):182-7, 2012 Mar 9	内分泌・代謝内科

小計

33	Nakatsuji H, Kishida K, Funahashi T, Shimomura I	The Senri Study II Group. Three-month treatment with pioglitazone reduces circulating levels of S100A8/A9 (MRP8/14) complex, a biomarker of inflammation, without changes in body mass index, in type 2 diabetics with abdominal obesity.	Diabetes Res Clin Pract. 2012 Mar;95(3):e58-60.	内分泌・代謝内科
34	Hirata A, Kishida K, Nakatsuji H, Inoue K, Hiuge-Shimizu A, Funahashi T, Shimomura I.	High prevalence of gastroesophageal reflux symptoms in type 2 diabetics with hypo adiponectinemia and metabolic syndrome.	Nutr Metab (Lond). 9(1): 4, 2012 Jan 25	内分泌・代謝内科
35	Nakanishi-Minami T, Kishida K, Nakagawa Y, Nakatsuji H, Kuroda Y, Okauchi Y, Yamasaki K, Nojima Y, Tsujii K.	Carotid intima-media thickness, but not visceral fat area or adiponectin, correlates with intracoronary stenosis detected by multislice computed tomography in people with type 2 diabetes and hypertension.	Diabetes Res Clin Pract. 95(1): e23-6, 2012	内分泌・代謝内科
36	Takahashi R, Hirata H, Tachibana I, Shimosegawa E, Inoue A, Nagatomi I, Takeda Y, Kida H, Goya S, Kijima T, Yoshida M.	Early [18F]Fluorodeoxyglucose positron emission tomography at two days of gefitinib treatment predicts clinical outcome in patients with adenocarcinoma of the lung	Clin Cancer Res 18(1):220-8, 2012	呼吸器内科
37	西田純幸、平野亨、嶋良仁、榑崎雅司、緒方篤、岡芳弘、岸本忠三、田中敏郎 他	Successful treatment of acquired hemophilia A, complicated by chronic GVHD, with tocilizumab.	Mod Rheumatol. 21:420-422. 2011.	免疫・アレルギー内科
38	嶋良仁、緒方篤、岸本忠三、田中敏郎 他	Tocilizumab, a humanized anti-interleukin-6 receptor antibody, ameliorated clinical symptoms and MRI findings of a patient with ankylosing spondylitis.	Mod Rheumatol. 21:436-439. 2011.	免疫・アレルギー内科
39	榑崎雅司、嶋良仁、緒方篤、岸本忠三、田中敏郎 他	Therapeutic effect of tocilizumab on two patients with polymyositis.	Rheumatology (Oxford). 50:1344-1346. 2011.	免疫・アレルギー内科
40	中島博子、岡芳弘、坪井昭博、杉山治夫 他	Enhanced tumor immunity of WT1 peptide vaccination by interferon-β administration	Vaccine 30(4), 722-729, 2012	免疫・アレルギー内科
41	柴田大、他	Predictability of the response to tyrosine kinase inhibitors via in vitro analysis of Bcr-Abl phosphorylation.	Leukemia Research (2011年9月、35巻9号)	血液・腫瘍内科
42	斉藤有理、他	PICOT is a molecule which binds to anamorsin.	Biochemical and Biophysical Research Communications (2011年5月、408巻)	血液・腫瘍内科
43	Sato N	Role of insulin signaling in the interaction between Alzheimer disease and diabetes mellitus: A missing link to therapeutic potential.	Current Aging Science (2011年7月4号)	老年・高血圧
44	Ogihara T	Practitioner's trial on the efficacy of antihypertensive treatment in elderly patients with hypertension II(PATE-hypertension II study)	Geriatrics and Gerontology International (2011年10月11号)	老年・高血圧
45	Kusunoki H	Evidence of Contribution of peroxisome-proliferator activated receptor gamma; activation to organ protective actions of telmisartan independent of angiotensin II type 1 receptor blockade.	Hypertension (2012年2月59号)	老年・高血圧
46	Iekushi K	Hepatocyte growth factor attenuates transforming growth factor-beta-angiotensin II crosstalk through inhibition of the PTEN/Akt pathway.	Hypertension(2011年8月58号)	老年・高血圧
47	Kawai T	Usefulness of the resistive index in renal Doppler ultrasonography as an indicator of vascular damage in patients with risks of atherosclerosis.	Nephrology Dialysis Transplantation (2011年10月26号)	老年・高血圧
48	Matsuzaki M	Prevention of cardiovascular events with calcium channel blocker-based combination therapies in patients with hypertension: a randomized controlled trial.	Journal of Hypertension(2011年8月29号)	老年・高血圧

小計

49	Ohishi M	The combination of chronic kidney disease and increased arterial stiffness is a predictor for stroke and cardiovascular disease in hypertensive patients.	Hypertension Research(2011年11月34号)	老年・高血压
50	Congrains A	Genetic Variants at the 9p21 Locus Contribute to Atherosclerosis through Modulation of ANRIL and CDKN2A/B.	Atherosclerosis (2012年1月220号)	老年・高血压
51	Oguro R	A single nucleotide polymorphism of the adenosine deaminase, RNA-specific gene is associated with the serum triglyceride level, abdominal circumference, and serum adiponectin concentration.	Experimental Gerontology (2012年2月47号)	老年・高血压
52	Sekimoto M	Laparoscopic lymph node dissection around the inferior mesenteric artery with preservation of the left colic artery.	Surg Endosc (2011年25卷3号)	消化器外科
53	Sekimoto M.	Two Cases of Gastric Anisakiasis for which Oral Administration of a Medicine Containing Wood Creosote (Seirogan) was Effective.	Hepato-Gastroenterology (2011年58卷109号)	消化器外科
54	Wada H.	A phase I study of vaccination with NY-ESO-1f peptide mixed with Picibanil OK-432 and Montanide ISA-51 in patients with cancers expressing the NY-ESO-1 antigen.	Int J Cancer (2011年129卷12号)	消化器外科
55	Nagano H.	Long-Term Outcome of Combined Interferon- $\alpha$ and 5-Fluorouracil Treatment for Advanced Hepatocellular Carcinoma with Major Portal Vein Thrombosis.	Oncology (2011年80卷1-2号)	消化器外科
56	Yamamoto H.	OSNA-based novel molecular testing for lymph node metastases in colorectal cancer patients: results from a multicenter clinical performance study in Japan.	Ann Surg Oncol (2011年18卷7号)	消化器外科
57	Takiguchi S.	Pattern of Surgical Treatment for Early Gastric Cancers in Upper Third of the Stomach	Hepato-Gastroenterology (2011年58卷110-111号)	消化器外科
58	Takiguchi S.	Pattern of surgical treatment for early gastric cancers in upper third of the stomach.	Hepatogastroenterology (2011年58卷110号)	消化器外科
59	Eguchi H.	A Thick Pancreas Is a Risk Factor for Pancreatic Fistula after a Distal Pancreatectomy: Selection of the Closure Technique according to the Thickness.	Dig Surg (2011年28卷1号)	消化器外科
60	Miyata H.	Prognostic Value of Endoscopic Biopsy Findings After Induction Chemoradiotherapy With and Without Surgery for Esophageal Cancer.	Ann Surg (2011年2月253号2号)	消化器外科
61	Miyata H.	Survival factors in patients with recurrence after curative resection of esophageal squamous cell carcinomas.	Ann Surg Oncol (2011年18卷12号)	消化器外科
62	Miyata H.	Prognostic value of inflammation-based score in patients undergoing preoperative chemotherapy followed by surgery for esophageal cancer.	Experimental Therapeutic Med (2011年2卷5号)	消化器外科
63	Miyata H.	Multimodal treatment for resectable esophageal cancer.	Gen Thorac Cardiovasc Surg (2011年59卷7号)	消化器外科
64	Nakajima K.	Steady pressure automatically controlled endoscopy (SPACE): a new modality in gastrointestinal endoscopic intervention.	Gastroenterol Endosc (2011年73卷45号)	消化器外科
65	Marubashi S.	Efficacy of Minimal Dosage of Calcineurin Inhibitor for Living Donor Liver Transplant Recipients with Preoperative Renal Dysfunction.	Hepato Gastroenterology (2011年58卷106号)	消化器外科
66	Marubashi S.	Donor Hepatectomy for Living Donor Liver Transplantation: Learning Steps and Surgical Outcome.	Dig Dis Sci (2011年56卷8号)	消化器外科
67	Marubashi S.	Clinical Significance of Alpha-Fetoprotein mRNA in Peripheral Blood in Liver Resection for Hepatocellular Carcinoma.	Ann Surg Oncol (2011年18卷8号)	消化器外科
68	Kobayashi S.	Successful adult ABO incompatible living donor liver transplantation: experience with double infusion through the hepatic artery and portal vein.	Hepato gastroenterology (2011年58卷106号)	消化器外科
69	Kobayashi S.	Experience with the use of fibrin sealant plus polyglycolic acid felt at the cut surface of the liver in laparoscopic hepatectomy.	Surg Endosc (2011年25卷11号)	消化器外科
70	Kobayashi S.	Treatment of borderline cases for curative resection of biliary tract cancer. J Surg Oncol.	J Surg Oncol (2011年104卷5号)	消化器外科
71	Kobayashi S.	Diagnostic value of FDG-PET for lymph node metastasis and outcome of surgery for biliary cancer.	J Surg Oncol (2011年103卷1号)	消化器外科

小計

72	Kobayashi S.	Comparison of 4-weekly vs. 3-weekly gemcitabine as adjuvant chemotherapy following curative resection for biliary tract cancer: A prospective randomized controlled trial.	Journal of Cancer Therapy (2011年2卷5号)	消化器外科
73	Yamasaki M.	Multicenter phase I/II study of docetaxel, cisplatin and fluorouracil combination chemotherapy in patients with advanced or recurrent squamous cell carcinoma of the esophagus.	Oncology (2011年80卷5-6号)	消化器外科
74	Yamasaki M.	Minimally invasive esophagectomy for esophageal cancer: comparative analysis of open and hand-assisted laparoscopic abdominal lymphadenectomy with gastric conduit reconstruction.	J Surg Oncol (2011年104卷6号)	消化器外科
75	Yamasaki M.	Role of multidrug resistance protein 2 (MRP2) in chemoresistance and clinical outcome in esophageal squamous cell carcinoma.	Br J Cancer (2011年104卷4号)	消化器外科
76	Kurokawa Y.	Functional outcomes after extended surgery for gastric cancer.	Brit J Surg (2011年98卷2号)	消化器外科
77	Akita H.	Ep-CAN is a significant prognostic factor in pancreatic cancer patients by suppressing cell activity.	Oncogene (2011年2月30卷31号)	消化器外科
78	Akita H.	Mural Nodule in Branch Duct Type Intraductal Papillary Mucinous Neoplasms of the Pancreas is a Marker of Malignant Transformation and Indication for Surgery.	Am J Surgery (2011年202卷2号)	消化器外科
79	Miyoshi N.	Reprogramming of Mouse and Human Cells to Pluripotency Using Mature MicroRNAs.	Cell Stem Cell (2011年1月8卷6号)	消化器外科
80	Murakami M.	Tyrosine Kinase Inhibitor PTK/ZK Enhances the Antitumor Effects of Interferon- $\alpha$ /5-Fluorouracil Therapy for Hepatocellular Carcinoma Cells.	Ann Surg Oncol (2011年18卷2号)	消化器外科
81	Takahashi H.	Significance of Lgr5(+ve) Cancer Stem Cells in the Colon and Rectum.	Ann Surg Oncol (2011年18卷4号)	消化器外科
82	Takahashi H.	Anal metastasis of colorectal carcinoma origin: implications for diagnosis and treatment strategy.	Dis Colon Rectum (2011年54卷4号)	消化器外科
83	Tomimaru Y.	Advantage of autologous blood transfusion in surgery for hepatocellular carcinoma.	World J Gastroenterol (2011年8月17卷32号)	消化器外科
84	Tomimaru Y.	Circulating microRNA-21 as a novel biomarker for hepatocellular carcinoma.	J Hepatol (2011年7月56卷1号)	消化器外科
85	Tomokuni A.	miR-146a suppresses the sensitivity to interferon- $\alpha$ in hepatocellular carcinoma cells.	Biochem Biophys Res Commun (2011年414卷4号)	消化器外科
86	Tomimaru Y.	Synergistic antitumor effect of interferon- $\beta$ with gemcitabine in interferon- $\alpha$ -non-responsive pancreatic cancer cells.	Int J Oncol (2011年38卷5号)	消化器外科
87	Ogino T.	Breast cancer with ipsilateral supraclavicular metastases.	Breast J (2011年17卷5号)	消化器外科
88	Dyah Laksmi Dewi	Cancer stem cell theory in gastrointestinal malignancies: recent progress and challenges.	J Gastroenterol (2011年8月24卷10号)	消化器外科
89	Hirose H.	The Significance of PITX2 Overexpression in Colorectal Cancer.	Surg Oncol (2011年18卷10号)	消化器外科
90	Iwahori K.	Overexpression of SOCS3 exhibits preclinical antitumor activity against malignant pleural mesothelioma.	Int J Cancer (2011年129卷4号)	消化器外科
91	Kanzaki R	Outcome of surgical resection for recurrent pulmonary metastasis from colorectal carcinoma.	Am J Surg (2011年202卷4号)	消化器外科
92	Kato M.	Local resection by combined laparoscopic surgery for duodenal gastrointestinal stromal tumor	Diag Ther Endosc (2011年2011卷)	消化器外科
93	Kawamoto M.	Identification of HLA-A 0201/-A 2402-restricted CTL epitopeptides derived from a novel cancer/testis antigen, MCAK, and induction of a specific antitumor immune response.	Oncol Rep (2011年25卷2号)	消化器外科
94	Kodama T	Increases in p53 expression induce CTGF synthesis by mouse and human hepatocytes and result in liver fibrosis in mice.	J Clin Invest (2011年121卷8号)	消化器外科
95	Makino T.	Preoperative T staging of gastric cancer by multi-detector row computed tomography.	Surgery (2011年5月149卷5号)	消化器外科
96	Makino T.	Treatment of T4 esophageal cancer. Definitive chemoradiotherapy vs chemo-radiotherapy followed by surgery.	Ann Thorac Cardiovasc Surg (2011年6月17卷3号)	消化器外科
97	Miyake M.	Heterogeneity of colorectal cancers extraction of discriminator gene signatures for personalized prognosis.	Int J Oncol (2011年39卷4号)	消化器外科

小計

98	Miyasaka M.	The endoscopic diagnosis of nonerosive reflux disease using flexible spectral imaging color enhancement image: a feasibility trial.	Dis Esophagus (2011年24巻6号)	消化器外科
99	Miyashiro I	Laparoscopic detection of sentinel node in gastric cancer surgery by indocyanine green fluorescence imaging.	Surg Endosc (2011年25巻5号)	消化器外科
100	Moriwaki K	Combination use of anti-CD133 antibody and SSA lectin can effectively enrich cells with high tumorigenicity.	Cancer Sci (2011年102巻6号)	消化器外科
101	Nakagawa S.	Expression of CLDN1 in colorectal cancer: A novel marker for prognosis.	Int J Oncol (2011年39巻4号)	消化器外科
102	Nakajima S.	Functional analysis of agalactosyl IgG in inflammatory bowel disease patients.	Inflamm Bowel Dis (2011年17巻4号)	消化器外科
103	Noda T.	Prognosis of hepatocellular carcinoma with biliary tumor thrombi after liver surgery.	Surgery (2011年3月19巻3号)	消化器外科
104	Ohta M.	Results of a national survey on laparoscopic bariatric surgery in Japan, 2000-2009.	Asian J Endosc Surg (2011年4巻3号)	消化器外科
105	Sanada Y.	Therapeutic effects of novel sphingosine-1-phosphate receptor agonist W-061 in murine DSS colitis.	PLoS One (2011年6巻9号)	消化器外科
106	Shao C.	Evaluation of MYB promoter methylation in salivary adenoid cystic carcinoma.	Oral Oncol (2011年4月47巻4号)	消化器外科
107	Shukla PJ.	Challenges of improving outcomes of rectal cancer surgery in obese patients.	J Am Coll Surg (2011年1月212巻1号)	消化器外科
108	Sohma I.	Parthenolide, An NF- $\kappa$ B Inhibitor, Suppresses Tumor Growth and Enhances Response to Chemotherapy in Gastric Cancer	Cancer Genomics & Proteomics (2011年8巻1号)	消化器外科
109	Sudo T.	Histone deacetylase 1 expression in gastric cancer.	Oncol Rep (2011年26巻4号)	消化器外科
110	Tomimaru Y.	Is routine measurement of amylase concentration in drainage fluid necessary after total gastrectomy for gastric cancer.	J Surg Oncol (2011年104巻3号)	消化器外科
111	Tomimaru Y.	Outcome of laparoscopic surgery for colon cancer in elderly patients.	Asian J Endosc Surg (2011年4巻1号)	消化器外科
112	Uemura M.	Clinicopathological Assessment of Locally Recurrent Rectal Cancer and Relation to Local Re-Recurrence.	Ann Surg Oncol (2011年18巻4号)	消化器外科
113	Uemura M.	Hypoxia-inducible adrenomedullin in colorectal cancer.	Anticancer Res (2011年31巻2号)	消化器外科
114	Watanabe M.	Clinical significance of circulating galectins as colorectal cancer markers.	Oncol Rep (2011年25巻5号)	消化器外科
115	Naoi Y, Kishi K, Tanei T et al.	Development of 95-gene classifier as a powerful predictor of recurrences in node-negative and ER-positive breast cancer patients	Breast Cancer Res Treat 2011; 128: 633-641	乳腺内分泌外科
116	Naoi Y, Kishi K, Tanei T et al.	Prediction of pathologic complete response to sequential paclitaxel and 5-fluorouracil/epirubicin/cyclophosphamide therapy using a 70-gene classifier for breast cancers	Cancer 2011; 117: 3682-3690.	乳腺内分泌外科
117	Kim SJ, Masago A, Tamaki Y et al.	A novel approach using telomerase-specific replication-selective adenovirus for detection of circulating tumor cells in breast cancer patients	Breast Cancer Res Treat 2011; 128: 765-773	乳腺内分泌外科
118	白井規朗	Use of the medical information on the Internet by pregnant patients with a prenatal diagnosis of neonatal disease requiring surgery.	Pediatr Surg Int. (2011; 27(12): 1289-1293.)	小児外科
119	白井規朗	Prenatal risk stratification for isolated congenital diaphragmatic hernia: results of a Japanese multicenter study.	J Pediatr Surg. (2011; 46(10): 1873-1880.)	小児外科
120	白井規朗	Reliability of the lung to thorax transverse area ratio as a predictive parameter in fetuses with congenital diaphragmatic hernia.	Pediatr Surg Int. (2011; 27(1): 39-45.)	小児外科
121	大植孝治	Expression of Wilms tumor 1 gene in a variety of pediatric tumors.	J Pediatr Surg. (2011; 46(12): 2233-2238.)	小児外科
122	神山雅史	Airway deformation in patients demonstrating pectus excavatum with an improvement after the Nuss procedure.	Pediatr Surg Int. (2011; 27(1): 61-66.)	小児外科
123	上野豪久	Graft fibrosis in patients with biliary atresia after pediatric living-related liver transplantation.	Pediatr Transplant. (2011; 15(5): 470-475)	小児外科
124	奈良啓悟	A case of childhood dermatofibrosarcoma protuberans of the face.	J Pediatr Surg. (2011; 46(7): 1438-1441.)	小児外科

小計

125	高間勇一	Effects of a calcineurin inhibitor, FK506, and a CCR5/CXCR3 antagonist, TAK-779, in a rat small intestinal transplantation model.	Transplant Immunol. (2011; 25(1): 49-55.)	小児外科
126	上原秀一郎	腹部マルチスライスCT検査で術前診断し腹腔鏡手術を施行した右傍十二指腸ヘルニアの1例.	日小外会誌. (2011; 47(1): 66-	小児外科
127	Morimoto T	Transcorneal electrical stimulation promotes survival of photoreceptors and improves retinal function in rhodopsin P347L transgenic rabbits.	Invest Ophthalmol Vis Sci.	眼科
128	Nakao T	The role of mislocalized phototransduction in photoreceptor cell death of retinitis pigmentosa.	PLoS One.	眼科
129	Sakimoto S	A role for endothelial cells in promoting the maturation of astrocytes through the apelin/APJ	Development.	眼科
130	Wakabayashi T	Intravitreal bevacizumab for exudative branching vascular networks in polypoidal choroidal	Br J Ophthalmol.	眼科
131	Usui S	Evaluation of the choroidal thickness using high-penetration optical coherence tomography with long wavelength in highly myopic normal-tension glaucoma.	Am J Ophthalmol.	眼科
132	Xie P	Suppression and regression of choroidal neovascularization in mice by a novel CCR2 antagonist, INCB3344.	PLoS One.	眼科
133	Inoue T	Chandelier illumination for use during descemet stripping automated endothelial keratoplasty in patients with advanced bullous keratopathy.	Cornea.	眼科
134	Gomi F	Disposable eyelid speculum designed for intravitreal injection.	Retina.	眼科
135	Morimoto T	Chronic implantation of newly developed suprachoroidal-transretinal stimulation prosthesis in dogs.	Invest Ophthalmol Vis Sci.	眼科
136	Fujikado T	Testing of semichronically implanted retinal prosthesis by suprachoroidal-transretinal stimulation in patients with retinitis pigmentosa.	Invest Ophthalmol Vis Sci.	眼科
137	Ikuno Y	Reproducibility of retinal and choroidal thickness measurements in enhanced depth imaging and high-penetration optical coherence tomography.	Invest Ophthalmol Vis Sci.	眼科
138	Matsusaki M	Physical and specific crosslinking of collagen fibers by supramolecular nanogelators.	Adv Mater.	眼科
139	Nishida K	Safety threshold of intravitreal activated protein-C.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol.	眼科
140	Sakaguchi H	A 29/30-gauge dual-chandelier illumination system for panoramic viewing during microincision vitrectomy surgery.	Retina.	眼科
141	Fukushima Y	Sema3E-PlexinD1 signaling selectively suppresses disoriented angiogenesis in ischemic retinopathy in mice.	J Clin Invest.	眼科
142	Haruta H	Blockade of interleukin-6 signaling suppresses not only th17 but also interphotoreceptor retinoid binding protein-specific Th1 by promoting regulatory T cells in experimental autoimmune uveoretinitis.	Invest Ophthalmol Vis Sci.	眼科
143	Miki A	One-year results of intravitreal bevacizumab as an adjunct to trabeculectomy for neovascular glaucoma in eyes with previous vitrectomy.	Eye (Lond).	眼科
144	今井 貴夫	Natural course of positional vertigo in patients with apogeotropic variant of horizontal canal benign paroxysmal positional vertigo	Auris Nasus Larynx (2011, Feb, 38巻)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
145	鎌倉 武史ほか	慢性中耳炎に対する鼓室形成術の術後成績の検討	Otology Japan	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
146	岩崎 幹季	Surgical outcomes and complications of massive OPLLs with occupying ratios of greater than 60%	J Spine Research 2 (227-230, 2011)	整形外科
147	岩崎 幹季	頸椎後縦靭帯骨化症の手術の長期成績 (前方 vs 後方)	脊椎脊髄ジャーナル (24(10) 2011)	整形外科
148	岩崎 幹季	脊椎手術後神経症状悪化	整形外科 治療と手術の合併症 (2011)	整形外科

小計

149	秋山 慶輔	Evaluation of translation in the normal and dysplastic hip using three-dimensional magnetic resonance imaging and voxel-based registration.	Osteoarthritis Cartilage, 19(2011)	整形外科
150	二井 数馬	In vivo kinematics of mobile-bearing total knee arthroplasty during deep knee bending under weight-bearing conditions.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc, 19 (2011)	整形外科
151	後藤 晃	Use of the volar fixed angle plate for comminuted distal radius fractures and augmentation with a hydroxyapatite bone graft substitute.	Hand Surgery, 16 (2011)	整形外科
152	小石 逸人	In vivo three-dimensional motion analysis of the shoulder joint during internal and external rotation.	International Orthopaedics, 35 (2011)	整形外科
153	小柳 淳一郎	In vivo kinematic analysis of squatting after total hip arthroplasty.	Clinical Biomechanics, 26 (2011)	整形外科
154	前 達雄	Migration of endobutton after anatomic double-bundle anterior cruciate ligament reconstruction.	Arthroscopy, 27 (2011)	整形外科
155	三宅 潤一	Distal radius osteotomy with volar locking plates based on computer simulation.	Clinical Orthopaedics and Related Research, 469 (2011)	整形外科
156	岡 久仁洋	Accuracy of corrective osteotomy using a custom-designed device based on a novel computer simulation system.	Journal of Orthopaedic Science, 16 (2011)	整形外科
157	清水 憲政	The effect of weight-bearing condition on kinematics of a high-flexion, posterior-stabilized knee prosthesis.	J Arthroplasty, 26 (2011)	整形外科
158	竹安 晋佳倫	Three-dimensional analysis of cubitus varus deformity after supracondylar fractures of the humerus.	Journal of Shoulder and Elbow Surgery, 20 (2011)	整形外科
159	前 達雄	In vivo graft tension in the anatomic double-bundle ACL reconstruction during active leg raising motion with the knee splinted.	Arthroscopy 2011 in press	整形外科
160	前 達雄	ACL移植腱張力下固定法の検討:移植腱残存張力からみた手法とtensioning boot法の比較	臨床バイオメカニクス 32 (2011)	整形外科
161	前 達雄	ACL再建術の基礎となるバイオメカニクス	関節外科 30(1) (2011)	整形外科
162	前 達雄	日常診療でよくみる症状・病態 - 診断の指針・治療の指針- 筋肉・骨格系の異常 筋肉痛・筋力低下	総合臨床 60 増刊 (永井書店) (2011)	整形外科
163	前 達雄	下肢のスポーツ外傷と障害の鑑別診断の進め方:膝部外傷と障害	整形外科臨床パサージュ 下肢のスポーツ (2011)	整形外科
164	前 達雄	局所合併症-下肢 膝半月板手術	整形外科 治療と手術の合併症 (2011)	整形外科

小計

165	前 達雄	部位別外傷・障害-膝 機能解剖	新版 スポーツ整形外科学 (2011)	整形外科
166	前 達雄	膝蓋骨脱臼の手術 内側膝蓋大腿靭帯再建術	整形外科手術イラストレイテッド 膝関節の手術 (2011)	整形外科
167	Kitaba S, Murota H, Terao M, Azukizawa H, Katayama I	Blockade of interleukin-6 receptor alleviates disease in mouse model of scleroderma.	Am J Pathol. 2012;180(1):165-76	皮膚科
168	Kiyohara E, Tamai K, Katayama I, Kaneda Y	The combination of chemotherapy with HVJ-E containing Rad51 siRNA elicited diverse anti-tumor effects and synergistically suppressed melanoma.	Gene Ther. 2012;19(7):734-41.	皮膚科
169	Wataya-Kaneda M, Tanaka M, Nakamura A, Matsumoto S, Katayama I	A topical combination of rapamycin and tacrolimus for the treatment of angiofibroma due to tuberous sclerosis complex (TSC): a pilot study of nine Japanese patients with TSC of different disease severity.	Br J Dermatol. 2011;165(4):912-6	皮膚科
170	Wataya-Kaneda M, Tanaka M, Nakamura A, Matsumoto S, Katayama I.	A novel application of topical rapamycin formulation, an inhibitor of mTOR, for patients with hypomelanotic macules in tuberous sclerosis complex.	Arch Dermatol. 2012;148(1):138-9.	皮膚科
171	北原和子 細川互 小野田泰大 坂井靖夫	会陰ヘルニアに対し、チタンメッシュを用いて修復した2例	日形会誌 2012年 1月 32 (1)	形成外科
172	Miwa K, Tanaka M, Okazaki S, Furukado S, Sakaguchi M, Kitagawa K.	Relations of Blood Inflammatory Marker Levels with Cerebral Microbleeds.	Stroke 2011, 42:3202-6	神経内科・脳卒中科
173	Oyama N, Yagita Y, Kawamura M, Sugiyama Y, Terasaki Y, Omura-Matsuoka E, Sasaki T, Kitagawa K.	Cilostazol, Not Aspirin, Reduces Ischemic Brain Injury via Endothelial Protection in Spontaneously Hypertensive Rats.	Stroke 2011, 42: 2571-7	神経内科・脳卒中科
174	Sugiyama Y, Yagita Y, Oyama N, Terasaki Y, Omura-Matsuoka E, Sasaki T, Kitagawa K.	Granulocyte Colony-Stimulating Factor Enhances Arteriogenesis and Ameliorates Cerebral Damage in a Mouse Model of Ischemic Stroke.	Stroke, 2011, 42:770-5.	神経内科・脳卒中科
175	Okazaki S, Sakaguchi M, Hyun B, Nagano K, Tagaya M, Sakata Y, Sakaguchi M, Kitagawa K.	Cerebral microbleeds predict impending intracranial hemorrhage in infective endocarditis.	Cerebrovasc Dis 2011, 32: 483-488.	神経内科・脳卒中科
176	Matsumoto M, Okazaki S, Sakaguchi M, Ohara N, Furukado S, Nagano K, Kuwagata Y, Shimazu T, Yoshimine T, Kitagawa K.	Preadmission therapeutic anticoagulation reduces cerebral infarct volume in patients with nonvalvular atrial fibrillation.	Eur Neurol 2011, 66; 277-282.	神経内科・脳卒中科
177	Nassar H, Furukado S, Tanaka M, Miwa K, Okazaki S, Sakaguchi M, Mochizuki H. Kitagawa K,	The Relation between Carotid Plaque Echogenicity and Oxidative stress marker 8-iso-prostaglandin F2 $\alpha$ .	Ultrasound Med Biol, 2011, 38: 487-491.	神経内科・脳卒中科
178	Beck G, Sugiura Y, Shinzawa K, Kato S, Setou M, Tsujimoto Y, Sakoda S, Sumi-Akamaru H	Neuroaxonal dystrophy in calcium-independent phospholipase A2 $\cdot$ deficiency results from insufficient remodeling and degeneration of mitochondrial and presynaptic membranes.	J Neurosci. 2011;31(31):11411-20.	神経内科・脳卒中科
179	Nakatsuji Y, Okuno T, Moriya M, Sugimoto T, Kinoshita M, Takamatsu H, Nojima S, Kimura T, Kang S, Ito D, Nakagawa	Elevation of Sema4A implicates Th cell skewing and the efficacy of interferon- $\beta$ therapy in multiple sclerosis.	J Immunol. 2012;188(10):4858-65	神経内科・脳卒中科
180	Ono K, Mochizuki H, Ikeda T, Nihira T, Takasaki JI, Teplow DB, Yamada M.	Effect of melatonin on $\alpha$ -synuclein self-assembly and cytotoxicity. Neurobiol Aging.	2011 Nov 23. [Epub ahead of print]	神経内科・脳卒中科

小計

181	Tada S, Okuno T, Yasui T, Nakatsuji Y, Sugimoto T, Kikutani H, Sakoda S.	Deleterious effects of lymphocytes at the early stage of neurodegeneration in an animal model of amyotrophic lateral sclerosis.	J Neuroinflammation. 2011;8(1):19	神経内科・脳卒中科
182	Takata K, Kinoshita M, Okuno T, Moriya M, Kohda T, Honorat AJ, Sugimoto T, Kumanogoh A, Kayama H, Takeda K, Yasuda T, Hayakawa H, Nihira T, Ren Y-R, Nakata Y, Nagai M, Hattori N, Miyake K, Takada M, Shimada T, Mizuno Y.	The Lactic Acid Bacterium <i>Pediococcus acidilactici</i> Suppresses Autoimmune Encephalomyelitis by Inducing IL-10-Producing Regulatory T Cells.	PLoS One. 2011;6(11):e27644	神経内科・脳卒中科
183		Parkin-mediated dopaminergic neuroprotection in an MPTP-minipump mouse model of Parkinson's disease.	J Neuropathol Exp Neurol. 2011;70(8):686-97.	神経内科・脳卒中科
184	Mitsuda.T	Sigma-1Rs are upregulated via PERK/eIF2a/ATF4 pathway and execute protective function in ER	Biochem biophys Res Commun 415(3):519-25 2011	神経科・精神科
185	Ikeda.M	Genome-wide association study of schizophrenia in a Japanese population	Biol Psychiatry 69(5):472-78,2011	神経科・精神科
186	Takahashi.H	Prepulse inhibition of startle response: recent advances in human studies of psychiatric disease	Clin Psychopharmacol Neurosci 9,102-10,2011	神経科・精神科
187	Kohsaka M	Efficacy and tolerability of ramelteon in a double-blind, placebo-controlled, crossover study in Japanese patients with chronic primary insomnia	Expert Rev Neurother 11(10):1389-97,2011	神経科・精神科
188	Yamamori.H	Dysbin-1 and NRG-1 gene expression in immortalized lymphocytes from patients with schizophrenia	J Hum Genet 56(7):478-83,2011	神経科・精神科
189	Canuet L	Schizophrenia-like psychosis associated with right-parietal meningioma	J Neuropsychiatry Clin Neurosci 23(3):E36,2011	神経科・精神科
190	Hirata M	A fully-implantable wireless system for human brain-machine interfaces using brain surface electrodes: W-HERBS	IEICE Trans Commun(2011 E94-B:2448-2453)	脳神経外科
191	Hirata M	Motor restoration based on the brain machine interface using brain surface electrodes: real time robot control and a fully-implantable wireless system	Advanced robotics(2011 26:399-408)	脳神経外科
192	Iwatsuki K	Percutaneous Diode Laser Irradiation for Lumbar Discogenic Pain: A Clinical Study	Photomed Laser Surg(2011/07 29:459-63)	脳神経外科
193	Khoo Hui Ming	Telovelar Approach to the Fourth Ventricle: Refinements of the Surgical Technique	Proceedings of the 8th ACNS 2010(2011 23)	脳神経外科
194	Maruo T	Deep brain stimulation of the subthalamic nucleus improves temperature sensation in patients with Parkinson's disease	Pain(2011/04 152:860-5)	脳神経外科
195	Nishida T	Quantification of cerebral artery motion during the cardiac cycle	AJNR Am J Neuroradiol(2011/1 2 32:E206-208)	脳神経外科
196	Ali M	Differential Efficacy of Electrical Motor Cortex Stimulation and Lesioning of the Dorsal Root Entry Zone for Continuous versus Paroxysmal Pain after Brachial Plexus Avulsion	Neurosurgery(2011 /05 68:1252-8)	脳神経外科

小計

197	Ishihara M	A new three-dimensional axonal outgrowth assay for central nervous system regeneration	J Neurosci Methods(2011/06 198:181-6)	脳神経外科
198	Yamamoto F	A Survey of Disclosure of Diagnosis to Patients with Glioma in Japan	Int J Clin Oncol(2011/06 16:230-7)	脳神経外科
199	Yanagisawa T	Real-time control of a prosthetic hand using human electrocorticography signals	J Neurosurg(2011/06 114:1715-22)	脳神経外科
200	Ohnishi Y	Disuse muscle atrophy exacerbates motor neuronal degeneration caudal to the site of spinal cord injury	Neuroreport(2012/02 23:157-61)	脳神経外科
201	Yanagisawa T	Electrocorticographic control of a prosthetic arm in paralyzed patients	Annal Neurol(2012/03 71:353-361)	脳神経外科
202	Sugata H	Movement-related neuromagnetic fields and performances of single trial classifications	Neuroreport(2012 23:16-20)	脳神経外科
203	Khoo Hui Ming	A“Sling Swing Transposition” Technique with Pedicled Dural Flap for Microvascular Decompression in Hemifacial Spasm	Neurosurgery(2012 /01 inpress)	脳神経外科
204	Hashimoto N	Slower growth of skull base meningiomas compared with non-skull base meningiomas based on volumetric and biological studies	J Neurosurg(2012/03 116:574-80)	脳神経外科
205	Nakae Aya, Nakai Kunihiro, Yano Kenji, Hosokawa Ko, Shibata Masahiko,	The animal model of spinal cord injury as an experimental pain model.	J Biomed Biotechnol., 2011, 2011 Mar.	麻酔科
206	宮本 善一.	全身麻酔と脳の発達への影響	麻酔., 60: 597-602, 2011, 5月.	麻酔科
207	Yamanaka Hiroo, Hayashi Yukio, Kamibayashi Takahiko, Mashimo Takashi.	Effect of olprinone, a phosphodiesterase III inhibitor, on balance of cerebral oxygen supply and demand during cardiopulmonary bypass.	J Cardiovasc Pharmacol., 57: 579-583., 2011 May.	麻酔科
208	Iwasaki Mitsuo, Hayashi Yukio, Yamanaka Hiroo, Kamibayashi Takahiko, Mashimo Takashi.	Nicorandil preserves myocardial function following brain death in rats by mitochondrial adenosine triphosphate-sensitive potassium channel-dependent mechanism.	Eur J Cardiothorac Surg., 40: 710-714., 2011 Sep.	麻酔科
209	大迫 正一, 林 行雄, 安江 雄一, 松山 恭悠, 田村 岳, 眞下 節.	術前より高度の貧血がみられた輸血拒否患者の緊急手術の麻酔管理.	循環制御., 32: 22-25., 2011 4月.	麻酔科
210	Miyake, T.	Recurrent endometrial carcinoma: prognosis for patients with recurrence within 6 to 12 months is worse relative to those relapsing at 12 months or later	Am J Obstet Gynecol 204:535 e1-5, 2011	産科・婦人科
211	Koyama, S	The amnioscope strikes back as a useful device for pinhole amniotomy in the management of polyhydramnios	Amer J Perinatology Repts 1:99-104, 2011	産科・婦人科
212	Ueda, Y.	Dissection of unsuspected para-aortic lymph nodes does not improve prognosis of advanced endometrial carcinoma with intra- or extra-abdominal metastasis	Anticancer Res 31:4513-4517, 2011	産科・婦人科

小計

213	Ueda, Y.	Second-line chemotherapy for advanced or recurrent endometrial carcinoma previously treated with paclitaxel and carboplatin, with or without epirubicin	Cancer Chemother Pharmacol 67:829-835, 2011	産科・婦人科
214	Egawa-Takata, T.	Chemotherapy for endometrial carcinoma (GOGO-EM1 study): TEC (paclitaxel, epirubicin, and carboplatin) is an effective remission-induction and adjuvant therapy	Cancer Chemother Pharmacol 68:1603-1610, 2011	産科・婦人科
215	Enomoto, T.	A successful case of abdominal radical trachelectomy for cervical cancer during pregnancy	Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol 158:365-366, 2011	産科・婦人科
216	Mabuchi, S.	Postoperative whole pelvic radiotherapy plus concurrent chemotherapy versus extended-field irradiation for early-stage cervical cancer patients with multiple pelvic lymph node metastases	Gynecol Oncol 120:94-100, 2011	産科・婦人科
217	Mabuchi, S.	Radical hysterectomy with adjuvant radiotherapy versus definitive radiotherapy alone for FIGO stage IIB cervical cancer	Gynecol Oncol 123:241-247, 2011	産科・婦人科
218	Sasamoto, N.	Fetal and neonatal anemia associated with anti-Jr(a) : a case report showing a poorly hemolytic mechanism	J Obstet Gynaecol Res 37:1132-1136, 2011	産科・婦人科
219	Koyama, S.	Successful pregnancy after simultaneous pancreas-kidney transplantation from a brain-dead donor: the first case report in Japan	J Obstet Gynaecol Res 37:1711-1716, 2011	産科・婦人科
220	大幡泰久	Circulating levels of soluble alpha-Klotho are markedly elevated in human umbilical cord blood.	J Clin Endocrinol Metab[96(6), 2011. 6]	小児科
221	北岡太一	Decrease in serum FGF23 levels after intravenous infusion of pamidronate in patients with osteogenesis imperfecta.	J Bone Miner Metab[29(5), 2011. 9]	小児科
222	村上真理	Major role of apolipoprotein B in cycloheximide-induced acute hepatic steatosis in mice.	Hepato Res[41(5), 2011. 5]	小児科
223	石田秀和	LEOPARD-type SHP2 mutant Gln510Glu attenuates cardiomyocyte differentiation and promotes cardiac hypertrophy via dysregulation of Akt/GSK-3 $\beta$ / $\beta$ -catenin signaling.	Am J Physiol Heart Circ Physiol[301(4), 2011. 10]	小児科
224	橋本奈津子	SLC2A1 gene analysis of Japanese patients with glucose transporter 1 deficiency syndrome.	J Hum Genet[56(12), 2011. 12]	小児科
225	橋井佳子	WT1 peptide vaccination following allogeneic stem cell transplantation in pediatric leukemic patients with high risk for relapse: successful maintenance of durable remission.	Leukemia[26(3), 2012. 3]	小児科
226	大友孝信	Lysosomal storage causes cellular dysfunction in mucopolipidosis II skin fibroblasts.	J Biol Chem[286(40), 2011. 10]	小児科
227	大友孝信	Genistein reduces heparan sulfate accumulation in human mucopolipidosis II skin fibroblasts.	Mol Genet Metab[105(2), 2012. 2]	小児科
228	毛利育子	Evaluation of Oral Iron Treatment in Pediatric Restless Legs Syndrome (RLS).	Sleep Med[13(4), 2012. 4]	小児科
229	加藤久美	nCPAP improves the quality of life of siblings with mandibuloacral dysplasia.	Open Sleep J[4, 2011. 3]	小児科
230	福原 慎一郎	Vardenafil and resveratrol synergistically enhance the nitric oxide/cyclic guanosine monophosphate pathway in corpus cavernosal smooth muscle cells and its therapeutic potential for erectile dysfunction in the streptozotocin-induced diabetic rat: preliminary findings	J Sex Med 8(4):1061-71 2011	泌尿器科
231	角田 洋一	Epigallocatechin-3-gallate protects kidneys from ischemia reperfusion injury by HO-1 upregulation and inhibition of macrophage infiltration	Transpl Int 24(5):514-22 2011	泌尿器科
232	角田 洋一	Blocking of CCR5 and CXCR3 suppresses the infiltration of macrophages in acute renal allograft rejection	Transplantation 93(1):24-31 2011	泌尿器科
233	河嶋 厚成	One-month relative dose intensity of not less than 50% predicts favourable progression-free survival in sorafenib therapy for advanced renal cell carcinoma in Japanese patients	Eur J Cancer 47(10):1521-6 2011	泌尿器科

小計

234	奥田 英伸	Morphologic and mitochondrial characterization of human spermatogenic cells dispersed in wet preparation for testicular sperm extraction: establishment of a microscopic diagram of developing human spermatogenic cells	Fertil Steil 95(8):2665-8 2011	泌尿器科
235	奥見 雅由	Safety and efficacy of administering the maximal dose of candesartan in renal transplant recipients	Clin Exp Nephrol 78(3):648-52 2011	泌尿器科
236	吉岡 徹	Angiotensin type-1 receptor blocker candesartan inhibits calcium oxalate crystal deposition in ethylene glycol-treated rat kidneys	Urology 77(4):1007e9- 1007e14 2011	泌尿器科
237	阿部 豊文	Carbamylated erythropoietin ameliorates cyclosporine nephropathy without stimulating erythropoiesis	Cell Transplant 21(2):571-80 2012	泌尿器科
238	Nakazawa T,	Lung perfused blood volume images with dual-energy computed tomography for chronic thromboembolic pulmonary hypertension: correlation to scintigraphy with single-photon emission computed tomography.	J Comput Assist Tomogr. 35(5):590-5, 2011	放射線診断科
239	Takahashi H,	Variation in supratentorial cerebrospinal fluid production rate in one day: measurement by nontriggered phase-contrast magnetic resonance imaging.	Jpn J Radiol. 29(2):110-5, 2011	放射線診断科
240	Watanabe Y,	3D-MR cisternography for the identification of distal dural rings; Comparison of 3D-CISS (Constructive Interference in Steady State) and 3D-SPACE (Sampling Perfection with Application optimized Contrasts using different flip angle Evolutions)	Magnetic Resonance in Medical Sciences, 10(1):29-32, 2011	放射線診断科
241	Watanabe Y,	Assessment of Calcified Carotid Plaque Volume: Comparison of Contrast-Enhanced Dual-Energy CT Angiography and Native Single-Energy CT.	AJR Am J Roentgenol. 196(6):W796-9, 2011	放射線診断科
242	Honda O,	Image quality of multiplanar reconstruction of pulmonary CT scans using adaptive statistical iterative reconstruction.	Br J Radiol. 84(1000):335-41, 2011	放射線診断科
243	Sumikawa H,	Usual interstitial pneumonia and nonspecific interstitial pneumonia: Correlation between CT findings at the site of biopsy with pathological	Eur J Radiol. 2011 Dec 12. [Epub ahead of print]	放射線診断科
244	Yanagawa M,	Prediction of thymoma histology and stage by radiographic criteria.	Thorac Surg Clin. 21: 1-12, 2011	放射線診断科
245	Yanagawa M,	Pulmonary nodules: Effect of adaptive statistical iterative reconstruction (ASIR) technique on performance of a computer-aided detection (CAD) system-Comparison of performance between different-dose CT scans.	Eur J Radiol. 2011 Oct 5. [Epub ahead of print]	放射線診断科
246	Higashihara H,	Usefulness of contrast-enhanced three-dimensional MR angiography using time-resolved imaging of contrast kinetics applied to description of Extracranial Arteriovenous Malformations: Initial Experience.	Eur J Radiol; 2011 Apr 5. [Epub ahead of print]	放射線診断科
247	Higashihara H,	Diagnostic accuracy of C-arm CT during selective transcatheter angiography for hepatocellular carcinoma: comparison with intravenous contrast-enhanced, biphasic, dynamic MDCT.	Eur Radiol. 2011 Nov 26. [Epub ahead of print]	放射線診断科
248	花田 浩之	A solution for distinguishing Le(a-b-) sera in CA19-9 assays using SphereLight 180 and Architect i2000 assays.	Clin Chim Acta. (2012年1月;413巻 1-2号):278-281.	医療技術部検査部門
249	花田 浩之	Establishment of chemiluminescence enzyme immunoassay for apolipoprotein B-48 and its clinical applications for evaluation of impaired	Clin Chim Acta. (2012年1月;413巻 1-2号):160-165.	医療技術部検査部門
250	八木 美智子	総合血液検査システムLH1500と関連システムの評価	日本臨床検査自動 化学会誌(2011 年6月36巻3号)	医療技術部検査部門
251	西山 美保	多項目自動血球分析装置XE-5000を用いた幼若血小板比率(IPF%)測定における抗凝固剤と保存温度の影響-抗凝固剤CTADと室温保存の有用性	日本臨床検査医学 会(2011年5月59巻 5号)	医療技術部検査部門
252	大峰 利成	自動血球分析装置LH755による好中球増加患者におけるフラグ情報(Imm.NE1,Imm.NE2)の評価	日本臨床検査自動 化学会誌(2011 年4月36巻2号)	医療技術部検査部門
253	長 由美子	自動分析装置LH755による患者検体の芽球フラッグ (NE Blast,MO Blast, LY Blast)の評価	日本臨床検査自動 化学会誌(2012 年1月37巻1号)	医療技術部検査部門
254	正司 浩規	JCA-BM2250による2試薬系血清総蛋白およびアルブミン測定試薬の性能評価	医療と検査機器- 試薬(2011年6月3 4巻3号)	医療技術部検査部門
255	豊川真弘	Accuracy of commercial susceptibility testing method for measuring vancomycin MIC against Methicillin-resistant Staphylococcus aureus.	LABMEDICINE (2011年42巻:473- 477)	医療技術部検査部門
256	出口松夫	6種HTLV抗体測定試薬の基本性能について	医学と薬学(2011、 Vol66-No6)	医療技術部検査部門
257	田原和子	HCVコア抗原測定試薬「アーキテクト-HCV Ag」の評価	日本臨床検査自動 化学会誌(2011、 vol36-No2)	医療技術部検査部門
258	丸尾理恵、他	mRNA quantification after fluorescence activated cell sorting using locked nucleic Acid probes.	Mol Biotechnol	臨床検査部

小計

259	上口貴史	Breast Diffuion-Weighted MRI : Comparison of Tetrahedral Versus Orthogonal Diffusion Sensitization for Detection and Localization of Mass Lesions	JOURNAL OF MAGNETIC RESONANCE IMAGING 2011, 33:1375-1381	医療技術部放射線部門
260	土井 司	MR装置の安全管理に関する実態調査 —思った以上に事故は起きている—	日本放射線技術学会雑誌 2011, 64(8):895-904	医療技術部放射線部門
261	日高国幸	Elasticity and viscoelasticity of embolization microspheres	JOURNAL OF THE MECHANICAL BEHAVIOR OF BIOMEDICAL MATERIALS	医療技術部放射線部門
262	Zaki M, et al	Prognostic implication of types of tumor-associated macrophages in Hodgkin lymphoma.	Virchows Arch, 459:361-366, 2011	病理部
263	Chihara T, et al	Frequency of intravascular large B-cell lymphoma in Japan: study of the Osaka Lymphoma Study Group.	J Hematol Oncol, 4:14, 2011	病理部
264	Zaki M, et al	Presence of B-cell clones in T-cell lymphoma.	Eur J Haematol, 86:412-419, 2011	病理部
265	Rahadiani N, et al	Expression of aldehyde dehydrogenase 1 (ALDH1) in endometrioid adenocarcinoma and its clinical implications.	Cancer Sci, 102:903-908, 2011	病理部
266	Wada N, et al	Epstein-Barr virus in diffuse large B-cell lymphoma in immunocompetent patients in Japan is as low as in Western countries.	J Med Virol, 83:317-321, 2011	病理部
267	Mamat S, et al	Transcriptional regulation of aldehyde dehydrogenase 1A1 gene by alternative spliced forms of nuclear factor Y in tumorigenic population of endometrial adenocarcinoma.	Genes Cancer, 2:979-984, 2011	病理部
268	Oneyama C, et al	MicroRNA-mediated downregulation of mTOR/FGFR3 controls tumor growth induced by Src-related oncogenic pathways.	Oncogene, 30:3489-3501, 2011	病理部
269	Kashiwagi H	Molecular analysis of a patient with type I Glanzmann thrombasthenia and clinical impact of the presence of anti- $\alpha$ IIb $\beta$ 3 alloantibodies.	Int J Hematol 93:106-111, 2011	輸血部
270	西山美保	多項目自動血球分析装置XE-5000を用いた幼若血小板比率(IPF%)測定における抗凝固剤と保存温度の影響—抗凝固剤CTADと室温保存の有効性—	臨床病理 59:452-458, 2011	輸血部
271	Oze, T., Hiramatsu, N., Yakushijin, T., Mochizuki, K., Oshita, M., Hagihara, H., Mita, E., Ito, T., Fukui, H., Inui, Y., Hijioka, T., Inada, M., Katayama, K., Tamura, S., Yoshihara, H., Inoue, A., Imai, Y., Kato, M., Miyagi, T., Yoshida, Y., Tatsumi, T., Kiso, S., Kanto, T., Kasahara, A., Takehara, T. and	Indications and limitations for aged patients with chronic hepatitis C in pegylated interferon alfa-2b plus ribavirin combination therapy.	J Hepatol, 54: 604-611,2011	総合診療部
272	1 Inoue, Y., Hiramatsu, N., Oze, T., Yakushijin, T., Mochizuki, K., Fukuda, K., Mita, E., Haruna, Y., Inoue, A., Imai, Y., Miyagi, T., Yoshida, Y., Tatsumi, T., Kanto, T., Kasahara, A., Takehara, T. and	Amino acid substitution in the core protein has no impact on relapse in hepatitis C genotype 1 patients treated with peginterferon and ribavirin.	J Med Virol, 83:419-427,2011	総合診療部
273	Oze, T., Hiramatsu, N., Yakushijin, T., Mochizuki, K., Oshita, M., Hagiwara, H., Mita, E., Ito, T., Inui, Y., Fukui, H., Hijioka, T., Katayama, K., Tamura, S., Yoshihara, H., Inoue, A., Imai, Y., Hayashi, E., Kato, M., Hosui, A., Miyagi, T., Ishida, H., Yoshida, Y., Tatsumi, T., Kiso, S., Kanto, T., Kasahara, A., Takehara, T., and Havashi, N.	Efficacy of re-treatment with pegylated interferon plus ribavirin combination therapy for chronic hepatitis C in Japan.	J Gastroenterol, 46:1031-1037,2011	総合診療部

小計

15

274	Oze, T., Hiramatsu, N., Yakushijin, T., Mochizuki, K., Imanaka, K., Yamada, A., Oshita, M., Kaneko, A., Hagiwara, H., Mita, E., Ito, T., Nagase, T., Inui, Y., Hijioka, T., Tamura, S., Yoshihara, H., Hayashi, E., Imai, Y., Kato, M., Hosui, A., Miyagi, T., Yoshida, Y., Ishida, H., Tatsumi, T., Kiso, S., Kanto, T., Kasahara, A., Takehara, T., and Hayashi, N.	The efficacy of extended treatment with pegylated interferon plus ribavirin in patients with HCV genotype 1 and slow virologic response in Japan.	J Gastroenterol, 46:944-952,2011	総合診療部
275	Hiramatsu, N., Inoue, Y., Oze, T., Kurashige, N., Yakushijin, T., Miyagi T., Tatsumi, T., Kiso, S., Kanto, T., Kasahara, A., Takehara, T., Oshita, M., Mita, E., Hagiwara, H., Inui, Y., Katayama, K., Tamura, S., Yoshihara, H., Imai, Y., and Hayashi, N.	Efficacy of pegylated interferon plus rebavirin combination therapy for hepatitis C patients with normal ALT levels: a matched case-control study	J Gastroenterol, 46:1335-1343,2011	総合診療部
276	Morishita R, Makino H, Aoki M, Hashiya N, Yamasaki K, Azuma J, Taniyama Y, Sawa Y, Kaneda Y, Ogihara T.	Phase I/IIa clinical trial of therapeutic angiogenesis using hepatocyte growth factor gene transfer to treat critical limb ischemia.	Arterioscler Thromb Vasc Biol. 2011;31:713-20.	総合診療部
277	大須賀 章倫 外	A PROTECTIVE ROLE FOR INFLAMMASOME ACTIVATION FOLLOWING INJURY	SHOCK (2012/Vol.37, No.1)	高度救命救急センター
278	吉矢 和久 外	Depletion of gut commensal bacteria attenuates intestinal ischemia/reperfusion injury	American Journal of Physiology Gastrointestinal and Liver Physiology (2011.9/301)	高度救命救急センター
279	野口 和男 外	Effects of timing and duration of hypothermia on survival in an experimental gerbil model of global ischaemia	Resuscitation (2011.4/82)	高度救命救急センター
280	山川 一馬 外	Assessment of risk factors related to healthcare-associated methicillin-resistant Staphylococcus aureus infection at patient admission to an intensive care unit in Japan	BioMedCentral (2011/11:303)	高度救命救急センター
281	松嶋 麻子 外	臨床倫理検討からみた救命救急センターにおける終末期医療の現状と課題	日本救急医学会誌 (2012/23)	高度救命救急センター
282	島崎 淳也 外	SYSTEMIC INVOLVEMENT OF HIGH-MOBILITY GROUP BOX 1PROTEIN ANTIBODY IN A RAT MODEL OF CRUSH INJURY	SHOCK (2012/Vol.37, No.1)2012/Vol.37, No.6)	高度救命救急センター
283	梶野 健太郎 外	Current termination of resuscitation(TOR) guideline predict neurologically favorable outcome in Japan	Resuscitation (2012.6)	高度救命救急センター
284	廣瀬 智也 外	Dynamic Changes in the Expression of Neutrophil Extracellular Traps in Acute Respiratory Infections	American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine (2012/Vol.185)	高度救命救急センター
285	Kawato Y	Nkx3.2-induced suppression of Runx2 is a crucial mediator of hypoxia-dependent maintenance of chondrocyte phenotypes.	Biochem Biophys Res Commun.(2011 Dec. 416(1-2))	未来医療開発部
286	Tao H,	P38 Mitogen-Activated Protein Kinase Inhibitor, FR167653, Inhibits Parathyroid Hormone Related Protein-Induced Osteoclastogenesis and Bone Resorption.	PLoS ONE (2011 Aug, 6(8))	未来医療開発部
287	Tomonaga M,	Activation of nuclear factor-kappa B by linear ubiquitin chain assembly complex contributes to lung metastasis of osteosarcoma cells.	Int J Oncol. (2012 Feb;40(2))	未来医療開発部
288	Ren LM,	Biomechanical evaluation of porous bioactive ceramics after implantation: micro CT-based three-dimensional finite element analysis.	J Mater Sci Mater Med. (2012 Feb;23(2))	未来医療開発部
289	小中 節子	Modification of the education system for organ procurement coordinators in Japan after the revision of the Japanese Organ Transplantation Act.	Transplant Proc ( 2012 May;44(4):851-4)	移植医療部
290	福嵩 教偉	Professional education and hospital development for organ donation.	Transplant Proc (2012 May;44(4):848-50)	移植医療部
291	上野 高義	First pediatric heart transplantation from a pediatric donor heart in Japan.	Circ J. 2012 (76(3):752-4. Epub 2012 Jan 25)	移植医療部
292	大河原 弘達	Tissue procurement system in Japan: the role of a tissue bank in medical center for translational research, Osaka University Hospital.	Transplant Proc (2010 Jan-Feb;42(1):190-2)	移植医療部

小計

293	吉岡 大輔	Initial experience of conversion of Toyobo paracorporeal left ventricular assist device to DuraHeart left ventricular assist device.	Circ J. 2012 (76(2):372-6. Epub 2011 Nov 27)	移植医療部	
294	Takao M, Sakai T, Nishii T, Yoshikawa H, Takahara S, Sugano N	Incidence and predictors of osteonecrosis among cyclosporin- or tacrolimus-treated renal allograft recipients	Rheumatology International:2011年2月:31(2)巻:165-170頁	移植医療部	
295	Miyasato K, Takabatake Y, Kaimori J, Kimura T, Kitamura H, Kawachi H, Li XK, Hünig T, Takahara S, Rakugi H, Isaka Y	CD28 superagonist-induced regulatory T cell expansion ameliorates mesangioproliferative glomerulonephritis in rats.	Clinical and experimental nephrology:2011年2月:15(1)巻:50-57頁	移植医療部	
296	Xie L, Li XK, Takahara S.	Curcumin has bright prospects for the treatment of multiple sclerosis.	International Immunopharmacology:2011年3月:11(3)巻:323-330頁	移植医療部	
297	Chen J, Xie L, Toyama S, Hünig T, Takahara S, Li XK, Zhong L	The effects of Foxp3-expressing regulatory T cells expanded with CD28 superagonist antibody in DSS-induced mice colitis.	International Immunopharmacology:2011年5月:11(5)巻:610-617頁	移植医療部	
298	Kakuta Y, Okumi M, Isaka Y, Tsutahara K, Abe T, Yazawa K, Ichimaru N, Matsumura K, Hyon SH, Takahara S, Nonomura N.	Epigallocatechin-3-gallate protects kidneys from ischemia reperfusion injury by HO-1 upregulation and inhibition of macrophage infiltration	Transplant International:2011年5月:24(5)巻:514-522頁	移植医療部	
299	Takabatake Y, Li XK, Mizui M, Miyasato K, Matsui I, Kawada N, Imai E, Nig TH, Takahara S, Wada T, Furuichi K, Rakugi H, Isaka Y	A superagonistic monoclonal antibody for CD28 ameliorates crescentic glomerulonephritis in Wistar-Kyoto rats.	Molecular Medicine:2011年7月:17(7-8)巻:686-696頁	移植医療部	小計
300	Okumi M, Kawada N, Ichimaru N, Kitamura H, Abe T, Imamura R, Kojima Y, Kokado Y, Isaka Y, Rakugi H, Nonomura N, Moriyama T, Takahara S	Safety and efficacy of administering the maximal dose of candesartan in renal transplant recipients	Clinical and experimental nephrology:2011年12月:15(6)巻:907-915頁	移植医療部	10
301	加藤大悟, 市丸直嗣, 奥見雅由, 矢澤浩治, 貝森淳哉, 児島康行, 野々村祝夫, 高原史郎	腎移植患者におけるtacrolimusからtacrolimus徐放製剤への切替症例の検討	移植:2011年3月:46巻1号:58-63頁	移植医療部	計
302	坂本扶美枝, 黒田暁生, 川嶋聡, 加藤研, 植田江梨子, 高原充佳, 宮下和幸, 富龍一, 安田哲行, 松岡孝昭, 種村匡弘, 伊藤壽記, 高原史郎, 山崎義光, 松久宗英, 金藤秀明, 下村伊一郎	死戦期HbA1c高値ドナーからの腎移植後膵移植の1例	糖尿病:2011年6月54巻6号:417-424頁	移植医療部	302

1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文とし  
2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。



(様式第12)

		保管場所	管理方法
病院の管理 及び諸記 録	規則第一条の十一 第一項各号及び第九 条の二十三第一項 第一号に掲げる体 制の確保の状況	院内感染対策のための 指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための 委員会の開催状況	医事課
		従業者に対する院内感 染対策のための研修の実 施状況	医事課 感染制御部
		感染症の発生状況の報 告その他の院内感染対策 の推進を目的とした改善 のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安 全な管理のための責任者 の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品 の安全使用のための研修 の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のた めの業務に関する手順書 の作成及び当該手順書に 基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のた めに必要となる情報の取 集その他の医薬品の安全 使用を目的とした改善の ための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用の ための責任者の配置状況	医療技術部
		従業者に対する医療機 器の安全使用のための研 修の実施状況	医療技術部
		医療機器の保守点検に 関する計画の策定及び保 守点検の実施状況	医療技術部
医療機器の安全使用の ために必要となる情報の 収集その他の医療機器の 安全使用を目的とした改 善のための方策の実施状 況	医療技術部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び  
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	総務課長 辻谷 重宏
閲覧担当者氏名	総務課庶務係長 松本 安啓
閲覧の求めに応じる場所	総務課庶務係

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	87.2 %	算定期間	平成23年 4月 1日 ~平成 24年 3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	20,098人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	12,869人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	592人	
	D: 初診の患者の数	25,629人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
・ 指針の主な内容： 1. 患者中心の医療の実践 2. 診療情報の共有 3. 医療安全に関する組織的取り組み 4. インシデントの報告 5. 機能する医療事故防止対策 6. 適切な医療事故への対応 7. 患者からの医療相談の実施 8. 医療安全情報の共有 9. 職員に対する教育研修 10. 医療安全文化の構築 11. 医療安全管理マニュアルの作成・更新 12. 医療安全管理に関する指針の公開	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 32 回
・ 活動の主な内容： 統括医療安全管理委員会：本院における医療に係る安全管理について統括する 年11回 リスクマネジメント委員会：医療事故の防止策を策定する 年6回 医療クオリティ審議委員会：医療クオリティの向上を図る 年15回 医療事故対策委員会：医療事故が発生した場合の必要な対応を行う 年0回	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 12 回
・ 研修の主な内容： ①医療安全のための注意点 ②医療安全の両輪：テクニカルスキルとノンテクニカルスキル ③乳児の心肺蘇生 ④人工呼吸管理に関するクリティカルポイント ⑤小児の心肺蘇生 ⑥経管栄養、与薬、身体抑制における医療安全 ⑦挿管介助シミュレーション ⑧小児の術前の絶飲食 ⑨ヒューマンファクターの基礎知識：医療安全のために ⑩医療安全における栄養管理の重要性 ⑪頭部打撲シミュレーション ⑫転倒転落時の対応について	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ①医療安全関係マニュアルの改訂と周知 ②医療事故防止のための院内マニュアルの改訂と周知 ③転倒・転落発生時の対応フローチャートの改訂と周知 ④ベッド柵の安全に関する実証実験、及びメーカーへの改良申し入れ ⑤気道リスク評価チェックリストの電子化 ⑥CVC関連インシデントの検証と周知 ⑦研修医の輸血に関する取り決めの策定 ⑧小児の術前飲食指示の統一 ⑨血液浄化器の保管・管理状況の確認 ⑩eラーニング作成・実施（病院情報システム操作説明、眼内レンズ準備・確認、個人情報保護） ⑪CPR記録の電子化 ⑫CPRコール事例の検証と周知 ⑬臨床評価指標の測定	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 ( 4 名 ) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 ( 5 名 ) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
・ 所属職員： 専任 ( 4 ) 名 兼任 ( ) 名 ・ 活動の主な内容： 1. インシデントの調査・分析・レポート管理 2. 医療事故防止方策の検討・実施・評価 3. リスクマネージャー会議の開催 4. 職員研修の企画・実施 5. 医療安全推進及び教育のための教材の開発・活用 6. 現場のリスクマネージャー支援 7. 他の委員会や部署、各職種間の連絡調整 8. リスクマネジメント委員会等の開催準備及び支援 9. 医療事故後の患者及び家族等への対応支援等	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じられる体制の確保状況	有 ・ 無

## 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 院内感染対策に関する基本的な考え方</li> <li>・ 院内感染対策に関する組織的な取り組み</li> <li>・ 感染制御部の設置と目的</li> <li>・ 院内感染対策の対象者</li> <li>・ 院内感染対策の内容</li> </ul> </li> </ul>	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 11 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容： <p style="margin-left: 20px;">感染対策委員会：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①院内感染症の届出状況や抗菌薬の使用状況等の報告</li> <li>②院内感染対策についての審議</li> </ul> <p style="margin-left: 40px;">(感染対策の重要事項に関すること、必要に応じての指導助言に関すること、院内感染防止対策の施設基準に関すること等)</p> </li> </ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 15 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全職員対象：3回/年 院内環境対策 インフルエンザ対策 院内感染対策のまとめの報告</li> <li>・ 対象別教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>新採用者（研修医、看護師）-院内感染対策の基本についての講義と演習</li> <li>部署単位での勉強会-耐性菌対策、抗菌薬の適正使用など部署の問題に応じた内容</li> <li>外部委託業者（清掃員、洗浄員、受付、メッセンジャーなど）インフルエンザ対策</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有 ・ 無)</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>耐性菌サーベイランス、デバイスサーベイランス等のサーベイランスデータを元に対象部署に介入を行い感染対策の改善を図っている</li> <li>耐性菌サーベイランスを元にした介入 (MRSA、MDRP)</li> <li>デバイスサーベイランス実施部署：ICU (BSI、UTI、VAP)</li> <li>救命救急センター (BSI、UTI)</li> <li>抗菌薬使用状況を薬剤部からのデータを元に、適正使用にむけての介入を行っている</li> <li>8日以上継続使用には、抗菌薬継続使用届の提出を必要とする</li> <li>対象患者のリストアップは専任薬剤師によって行う</li> </ul> </li> </ul>	

## 医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：            医薬品安全講習会6月：「入院処方せん疑義照会事例の紹介」            医薬品安全講習会9月：「ハイリスク薬について」            医薬品安全講習会2月：「規制薬品について」            医薬品安全管理講習会12月：「ヒューマンファクターの基礎知識」</li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成 (有 ・ 無)</li> <li>・ 業務の主な内容：            医薬品安全業務手順書の策定・見直し            従業者に対する医薬品安全使用のための研修企画・実施            業務手順書に基づく業務実施の確認・記録            医薬品の安全使用のための情報収集その他改善方策</li> </ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重要安全情報の発信 (委員および各部署医薬品安全管理者に速報)</li> <li>・ 医薬品・医療機器等安全性情報 (厚労省) No279～288速報</li> <li>・ PMDA・製薬企業からの医薬品適正使用のお願い等の配信</li> <li>・ 医薬品安全関連情報、院内副作用情報のHP提供、</li> <li>・ 院内医薬品集改訂 (2012年版)、薬剤関連マニュアル改訂</li> <li>・ ハイリスク薬表の改訂</li> <li>・ 救急カートの薬品チェック表整備</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	

## 医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>内視鏡関連機器の安全管理</li> <li>MR検査の安全管理</li> <li>手術部における医療機器管理</li> <li>高度救命救急センターでの医療機器安全対策</li> </ul> </li> <li>部署ごとの臨床工学士やメーカーの技術スタッフによる講習会</li> <li>その他、医療機器の安全管理に関するセルフチェックシートによる自己研鑽</li> </ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画の作成 (有 ・ 無)</li> <li>・ 保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>人工心肺装置および補助循環装置</li> <li>人工呼吸器</li> <li>血液浄化装置</li> <li>除細動装置</li> <li>閉鎖式保育器</li> <li>診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置</li> <li>放射線関連機器のすべて</li> </ul> </li> </ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>自由参加型の医療機器取扱い講習会の開催 (OpenME) 4回/月</li> <li>バッテリー駆動医療機器の電源確保を啓発 (ポスター配布)</li> </ul> </li> </ul>	